

○文部省告示第二百五十七號

明治四十一年一月二十日ヨリ東京ニ於テ臨時ニ醫術開業後期實地試験ヲ行フ試験ヲ受ケントスル者ハ本年十二月十五日マテニ到達スヘキ日取ヲ以テ願書ヲ居住地ノ地方廳ニ差出スヘシ

明治四十一年十一月十二日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百五十八號

鹿兒島縣鹿兒島市上之園町ニ商船學校規程甲種及乙種程度ニ依リ私立鹿兒島商船學校ヲ設置シ明治四十一年十一月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十一年十一月十三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百五十九號

富山縣立礪波中學校ヲ富山縣西礪波郡鷹栖村ニ設置シ明治四十二年四月ヨリ同縣東礪波郡出町假校舎ニ於テ開校ノ件認可セリ

明治四十一年十一月十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百六十號

原谷村立簡易圖書館ヲ埼玉縣秩父郡原谷村立高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十一年十一月十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百六十一號

巖手縣江刺郡巖谷堂町ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ江刺郡立蠶業學校ヲ設置シ明治四十二年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十一年十一月十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百六十二號

石川縣鹿島郡中島村立中島圖書館ヲ同村立中島高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十一年十一月十九日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百六十三號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス
栃木縣下都賀郡立栃木農學校
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百六十四號

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試験檢定ニ關スル指定中左ノ通訂正追加ス
文部大臣 小松原英太郎

明治四十一年十一月二十一日

東京帝國大學ノ項(元帝國大學)ヲ(元東京大學ノ各部及)ニ改ム
京都帝國大學理工科大學ノ理學科ノ上ニ(元)ノ一字ヲ冠シ同項ノ次ニ左ノ三項ヲ追加ス

同數學科
同物理學科

同純正化學科

同分科大學ノ下「聽講生」ノ上ニ「元」ノ一字ヲ冠シ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス
分科大學選科生(選修シタ) 分科大學卒業者ニ準ス(法制及經)

「札幌農學校」ヲ「東北帝國大學農科大學」ニ改メ其ノ下ニ(元札幌農學校)ヲ加フ
農業教員養成所ノ次ニ左ノ二項ヲ追加ス

盛岡高等農林學校

農學科 農業

商業教員養成所ノ次ニ左ノ如ク追加ス

- 神戸高等商業學校 商業、簿記
- 本科
- 長崎高等商業學校 商業、簿記
- 本科
- 山口高等商業學校 商業、簿記
- 本科
- 京都高等工藝學校ノ次ニ左ノ如ク追加ス
- 名古屋高等工業學校
- 色染科 化學

○文部省告示第二百六十五號
滋賀縣稗太郎私立教育會記念圖書館ヲ同縣同郡草津町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十一年十一月三十日
文部大臣 小松原英太郎

○農商務省告示第二百八十號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十一年十一月二日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積		
岐阜	大野	白川	尾神	小谷	保木ノ上	保木ノ上	三四	一三、〇〇〇平方		
							同	同	同	一五、〇〇〇平方
							同	同	同	一六、〇〇〇平方
							同	同	同	一六、〇〇〇平方
同	同	同	同	北今保木	北今保木	一〇九	一、〇〇〇平方			

○農商務省告示第二百八十一號
明治四十一年十月二十八日左記入漁ニ關スル事項ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ
明治四十一年十一月二日

類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期	入漁權者	免許事項	登録日期
鮒	鮒	自一月三十日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	間島開浦漁業組合	自一月三十一日
とみぶし流業	とみぶし	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	とみぶし流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
石花菜流業	石花菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	石花菜流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
登録番號 第二〇九號			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	登録番號 第二〇九號	自一月三十一日
入漁區域	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁區域	自一月三十一日
入漁料 ナシ			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁料 ナシ	自一月三十一日
入漁權者	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁權者	自一月三十一日
飯岡浦漁業組合			飯岡浦漁業組合	飯岡浦漁業組合	自一月三十一日
鮒	鮒	自一月三十日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	鮒	自一月三十一日
とみぶし流業	とみぶし	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	とみぶし流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
石花菜流業	石花菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	石花菜流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
登録番號 第二〇九號			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	登録番號 第二〇九號	自一月三十一日
入漁區域	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁區域	自一月三十一日
入漁料 ナシ			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁料 ナシ	自一月三十一日
入漁權者	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁權者	自一月三十一日
飯岡浦漁業組合			飯岡浦漁業組合	飯岡浦漁業組合	自一月三十一日
鮒	鮒	自一月三十日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	鮒	自一月三十一日
とみぶし流業	とみぶし	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	とみぶし流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
石花菜流業	石花菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	石花菜流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
登録番號 第二〇九號			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	登録番號 第二〇九號	自一月三十一日
入漁區域	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁區域	自一月三十一日
入漁料 ナシ			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁料 ナシ	自一月三十一日
入漁權者	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁權者	自一月三十一日
飯岡浦漁業組合			飯岡浦漁業組合	飯岡浦漁業組合	自一月三十一日
鮒	鮒	自一月三十日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	鮒	自一月三十一日
とみぶし流業	とみぶし	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	とみぶし流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
石花菜流業	石花菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	石花菜流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
登録番號 第二〇九號			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	登録番號 第二〇九號	自一月三十一日
入漁區域	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁區域	自一月三十一日
入漁料 ナシ			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁料 ナシ	自一月三十一日
入漁權者	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁權者	自一月三十一日
飯岡浦漁業組合			飯岡浦漁業組合	飯岡浦漁業組合	自一月三十一日
鮒	鮒	自一月三十日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	鮒	自一月三十一日
とみぶし流業	とみぶし	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	とみぶし流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
石花菜流業	石花菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	石花菜流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
登録番號 第二〇九號			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	登録番號 第二〇九號	自一月三十一日
入漁區域	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁區域	自一月三十一日
入漁料 ナシ			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁料 ナシ	自一月三十一日
入漁權者	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁權者	自一月三十一日
飯岡浦漁業組合			飯岡浦漁業組合	飯岡浦漁業組合	自一月三十一日
鮒	鮒	自一月三十日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	鮒	自一月三十一日
とみぶし流業	とみぶし	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	とみぶし流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
石花菜流業	石花菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	石花菜流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
登録番號 第二〇九號			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	登録番號 第二〇九號	自一月三十一日
入漁區域	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁區域	自一月三十一日
入漁料 ナシ			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁料 ナシ	自一月三十一日
入漁權者	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁權者	自一月三十一日
飯岡浦漁業組合			飯岡浦漁業組合	飯岡浦漁業組合	自一月三十一日
鮒	鮒	自一月三十日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	鮒	自一月三十一日
とみぶし流業	とみぶし	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	とみぶし流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
石花菜流業	石花菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	石花菜流業	自一月三十一日
海菜流業	海菜	自一月三十一日	鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	海菜流業	自一月三十一日
登録番號 第二〇九號			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	登録番號 第二〇九號	自一月三十一日
入漁區域	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁區域	自一月三十一日
入漁料 ナシ			鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁料 ナシ	自一月三十一日
入漁權者	鹿毛郡南種子村大字島間		鹿兒島縣鹿毛郡南種子村大字島間	入漁權者	自一月三十一日
飯岡浦漁業組合			飯岡浦漁業組合	飯岡浦漁業組合	自一月三十一日

明治四十一年十一月 告示 農商務省告示第二百八十一號

トス(二)海風漁業ノ漁業方法ハ 濱網ニ限ル
入漁權者ノ 長崎縣北松浦郡星鹿村岳崎免二
千五百二十九番地前田今朝五郎

肥料 藻類 肥料 藻類
登録番號 第二一五號
入漁區域 長崎縣下縣郡雜知村大字根緒ノ
地先免許番號第六一號ノ流場

其他ノ權利 漁業權者ニ於テ口明ヲ爲サ、ル
部分ニハ入漁スルコトヲ得ス
入漁權者ノ 長崎縣下縣郡船越村大字久須保
代表者 二十八番戶、巖岩佐保吉

○農商務省告示第二百八十二號

明治四十一年十月二十七日左記專用漁業ヲ二十箇年ノ期間ヲ以テ免許シ免許漁業原簿ニ登録セリ

農商務大臣 男爵大浦兼武

漁業ノ種 類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期	免許番號	漁業權者	流場ノ位置	先
蝦類	沙魚刺網漁業	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村
蝦類	沙魚	同	第一四九七號	茨城縣鹿島郡大谷村ノ地先	山口縣都波郡富田村及瀧川村地	山口縣都波郡富田村

漁業ノ種 類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期	免許番號	漁業權者	流場ノ位置	先
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村
蝦類	沙魚	同	第一五〇三號	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村地先	山口縣佐波郡富海村

漁業備者 長崎縣南松浦郡魚目村、魚目村漁業組合	海羅漁業 海羅	自二月三十日	海羅漁業 海羅	自二月三十日
石花菜漁業 石花菜	自三月十一日	鹿尾菜漁業 鹿尾菜	自三月十一日	
肥料藻漁業 肥料藻	自三月十一日	免許番號 第一五二六號	自三月十一日	
免許番號 第一五二六號	漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡玉之浦村玉之浦	自三月十一日	免許番號 第一五二八號	自三月十一日
免許番號 第一五二七號	漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡宮江村ノ波止ヨリ山手川ニ至ル間ノ地先	自三月十一日	免許番號 第一五二八號	自三月十一日
漁業備者 長崎縣南松浦郡宮江村、宮江村漁業組合	海羅漁業 海羅	自二月三十日	海羅漁業 海羅	自二月三十日
石花菜漁業 石花菜	自三月十一日	鹿尾菜漁業 鹿尾菜	自三月十一日	
和布漁業 和布	自三月十一日	肥料藻漁業 肥料藻	自三月十一日	
免許番號 第一五二七號	漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡宮江村ノ波止ヨリ山手川ニ至ル間ノ地先	自三月十一日	免許番號 第一五二八號	自三月十一日
漁業備者 長崎縣南松浦郡宮江村、宮江村漁業組合	海羅漁業 海羅	自二月三十日	海羅漁業 海羅	自二月三十日
石花菜漁業 石花菜	自三月十一日	鹿尾菜漁業 鹿尾菜	自三月十一日	
和布漁業 和布	自三月十一日	肥料藻漁業 肥料藻	自三月十一日	
免許番號 第一五二七號	漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡宮江村ノ波止ヨリ山手川ニ至ル間ノ地先	自三月十一日	免許番號 第一五二八號	自三月十一日
漁業備者 長崎縣南松浦郡宮江村、宮江村漁業組合	海羅漁業 海羅	自二月三十日	海羅漁業 海羅	自二月三十日
石花菜漁業 石花菜	自三月十一日	鹿尾菜漁業 鹿尾菜	自三月十一日	
和布漁業 和布	自三月十一日	肥料藻漁業 肥料藻	自三月十一日	
免許番號 第一五二七號	漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡宮江村ノ波止ヨリ山手川ニ至ル間ノ地先	自三月十一日	免許番號 第一五二八號	自三月十一日

○農商務省告示第二百八十三號
 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
 明治四十一年十一月五日

和歌山 東牟婁 北山 大字 農商務大臣 男爵大浦兼武
 同 西牟婁 川添 小川 梅ノ木 地番 四九二 八三〇
 同 西牟婁 川添 小川 車ケノ平 四四四 二九二

○農商務省告示第二百八十四號
 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
 明治四十一年十一月五日

岡山 赤崎 大字 農商務大臣 男爵大浦兼武
 岡山 赤崎 赤崎 大字 赤崎 宮山 面 積 五二二五

○農商務省告示第二百八十五號
 森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ佐賀縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ下欄ノ通之ヲ處分ス
 明治四十一年十一月六日

佐賀 東松浦 大字 農商務大臣 男爵大浦兼武
 佐賀 東松浦 大字 虹ノ松原 地番 三九〇〇 二六九七三九ノ内 一九二二 一五二二解除 致部不解除

○農商務省告示第二百八十六號
 森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス
 明治四十一年十一月六日

新潟 東浦原 大字 農商務大臣 男爵大浦兼武
 新潟 東浦原 大字 木ノ目坂 地番 四九九六 二〇〇〇 上條村大字小出

○農商務省告示第二百八十七號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年十一月六日

縣	郡	村	大字	字	地番	面積				
新潟	中魚沼	岩澤	大字	岩澤	二、九三〇第三	二五歩				
					二、九三一第一	二七				
					二、九五一第一	二六				
					二、九五三第一	二〇六				
					二、九三三第一	六、〇〇〇				
					一、一〇九第三	七〇二				
					同	同	同	同	同	同
					同	同	同	同	同	同
					同	同	同	同	同	同
					同	同	同	同	同	同
東浦原	同	同	同	同	七名	同				
					同	同				
					同	同				
佐渡	東浦原	同	同	同	新保	宮ノ下				
					同	同				

○農商務省告示第二百八十八號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ滋賀縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ下欄ノ通之ヲ處分ス

明治四十一年十一月六日

縣	郡	村	大字	字	地番	告示面積	所有者	處分
滋賀	蒲生	島	長命寺	嶺崎那山	一	五、九二二第五	國	五、一八〇七解除

○農商務省告示第二百八十九號

明治四十一年十月二十八日左記専用漁業ヲ二十箇年ノ期間ヲ以テ免許シ免許漁業原簿ニ登錄セ

明治四十一年十一月七日

農務大臣 男爵大浦兼武

種類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期	免許番號	位置	漁業權者	組合	免許番號	位置	漁業權者	組合	免許番號	位置	漁業權者	組合	免許番號	位置	漁業權者	組合
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字津木地先	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字桑原地先	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字四郎谷地先	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村
鰻	鰻	三月二十一日至五月二十一日	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村字田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	第一五三三號	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村	山口縣都波郡戸田村

明治四十一年十一月 告示 農商務省第二百八十九號

<p>漁業權者 熊本縣天草郡魚村漁業組合</p> <p>魚網漁業 鱈</p> <p>玉筋魚</p> <p>鯉魚</p> <p>水鳥賊魚網漁業 水鳥賊</p> <p>銀刺網漁業 銀</p> <p>磯建網漁業 龍蝦磯魚</p> <p>海栗漁業 海栗</p> <p>鮑漁業 鮑</p> <p>海蘆漁業 海蘆</p> <p>石花菜漁業 石花菜</p> <p>鹿角菜漁業 鹿角菜</p> <p>あそぎ漁業 あそぎ</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五三九號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡久玉村ノ地先</p>	<p>漁業權者 熊本縣天草郡久玉村漁業組合</p> <p>海蘆漁業 海蘆</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四〇號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣西彼杵郡日見村古賀浦名字草摘ノ地先(峰ノ集漁場)</p> <p>條件又ハ制 本權ノ漁業ヲ爲シ得ル組合員ハ限ノ事項</p> <p>大田尾名居住ノ者ニ限ルモノトス</p> <p>漁業權者 長崎縣西彼杵郡茂木村漁業組合</p> <p>海蘆漁業 海蘆</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四一號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣西彼杵郡日見村小崎名字下大石ノ地先(ハナグリ漁場)</p> <p>條件又ハ制 本權ノ漁業ヲ爲シ得ル組合員ハ限ノ事項</p> <p>大田尾名居住ノ者ニ限ルモノトス</p>	<p>漁業權者 長崎縣西彼杵郡茂木村漁業組合</p> <p>鮭刺網漁業 鮭</p> <p>磯建網漁業 龍蝦磯魚</p> <p>海蘆漁業 海蘆</p> <p>あそぎ漁業 あそぎ</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四二號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣西彼杵郡日見村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 (一)和布、肥料漁業ノ專用區域ハ別紙(ハナグリ)ノ集漁場以外ニ限定ス(二)既ニ免許ヲ受ケタル鮭刺網ノ敷設中其ノ保護區域内ニ於テ斷ノ道路ヲ遮斷シ若ハ散逸セシムヘカラス(三)既ニ免許ヲ受ケタル鮭刺網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 長崎縣西彼杵郡日見村西彼杵郡日見村漁業組合</p> <p>鮭刺網漁業 鮭</p> <p>磯建網漁業 龍蝦磯魚</p> <p>海蘆漁業 海蘆</p> <p>あそぎ漁業 あそぎ</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四三號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣北松浦郡小佐々村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル鮭刺網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p>
---	---	--

<p>漁業權者 熊本縣天草郡魚村漁業組合</p> <p>魚網漁業 鱈</p> <p>玉筋魚</p> <p>鯉魚</p> <p>水鳥賊魚網漁業 水鳥賊</p> <p>銀刺網漁業 銀</p> <p>磯建網漁業 龍蝦磯魚</p> <p>海栗漁業 海栗</p> <p>鮑漁業 鮑</p> <p>海蘆漁業 海蘆</p> <p>石花菜漁業 石花菜</p> <p>鹿角菜漁業 鹿角菜</p> <p>あそぎ漁業 あそぎ</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五三九號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡久玉村ノ地先</p>	<p>漁業權者 長崎縣北松浦郡大島村、大島村漁業組合</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四四號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣北松浦郡大島村大字大島ノ長石垣ヨリホベタミ川ニ至ル間ノ地先</p> <p>條件又ハ制 本權ノ漁業ヲ爲シ得ル組合員ハ限ノ事項</p> <p>大根坂免居住ノ者ニ限ルモノトス</p> <p>漁業權者 長崎縣北松浦郡大島村、大島村漁業組合</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四五號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣北松浦郡大島村大字大島ノホベタミ川ヨリ大賀川ニ至ル間ノ地先</p> <p>條件又ハ制 本權ノ漁業ヲ爲シ得ル組合員ハ限ノ事項</p> <p>西宇戸免居住ノ者ニ限ルモノトス</p>	<p>漁業權者 長崎縣北松浦郡大島村、大島村漁業組合</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四六號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣北松浦郡大島村大字大島ノ大賀川ヨリ高岩ニ至ル間ノ地先</p> <p>條件又ハ制 本權ノ漁業ヲ爲シ得ル組合員ハ限ノ事項</p> <p>前平免居住ノ者ニ限ルモノトス</p> <p>漁業權者 長崎縣北松浦郡大島村、大島村漁業組合</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四七號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣北松浦郡大島村大字大島ノ笠ノ鼻ヨリ高岩ニ至ル間ノ地先</p> <p>條件又ハ制 本權ノ漁業ヲ爲シ得ル組合員ハ限ノ事項</p> <p>川内免及戸田免居住ノ者ニ限ルモノトス</p> <p>漁業權者 長崎縣北松浦郡大島村、大島村漁業組合</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四八號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣北松浦郡小佐々村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル鮭刺網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p>	<p>漁業權者 長崎縣北松浦郡小佐々村、小佐々村漁業組合</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第一五四九號</p> <p>漁場ノ位置 長崎縣北松浦郡鹿町村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル鮭刺網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p>
---	---	--	---

漁業ノ種類 及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期
鱈網漁業	鱈	自四月三十一日 至七月三十一日
海羅漁業	海羅	自三月三十一日 至六月三十日
免許番號 第一五五三號	鹿兒島縣熊毛郡下屋久村ノ地先	
漁業權者	鹿兒島縣熊毛郡下屋久村ノ地先	
村漁業組合		
鱈網漁業	鱈	自四月三十一日 至七月三十一日
免許番號 第一五五四號	鹿兒島縣熊毛郡上屋久村ノ地先	
漁業ノ位置	鹿兒島縣熊毛郡上屋久村ノ地先	
條件又ハ制	鹿兒島縣熊毛郡上屋久村ノ地先	
限ノ事項	鹿兒島縣熊毛郡上屋久村ノ地先	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	鹿兒島縣熊毛郡上屋久村ノ地先	
村漁業組合		
免許番號 第一五五五號	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
漁業ノ位置	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
條件又ハ制	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
限ノ事項	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
村漁業組合		
免許番號 第一五五六號	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
漁業ノ位置	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
條件又ハ制	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
限ノ事項	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	熊本縣天草郡宮岡町ノ地先	
村漁業組合		
免許番號 第一五五七號	長崎縣北松浦郡大島村ノ地先	
漁業ノ位置	長崎縣北松浦郡大島村ノ地先	
條件又ハ制	長崎縣北松浦郡大島村ノ地先	
限ノ事項	長崎縣北松浦郡大島村ノ地先	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣北松浦郡大島村ノ地先	
村漁業組合		
免許番號 第一五五八號	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
漁業ノ位置	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
條件又ハ制	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
限ノ事項	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
村漁業組合		
免許番號 第一五五九號	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
漁業ノ位置	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
條件又ハ制	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
限ノ事項	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
村漁業組合		
免許番號 第一五六〇號	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
漁業ノ位置	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
條件又ハ制	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
限ノ事項	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
村漁業組合		

漁業ノ種類 及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期
海菜漁業	海菜	自三月三十一日 至六月三十日
免許番號 第一五六〇號	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
漁業ノ位置	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
條件又ハ制	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
限ノ事項	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
村漁業組合		
免許番號 第一五六〇號	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
漁業ノ位置	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
條件又ハ制	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
限ノ事項	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
村漁業組合		
免許番號 第一五六〇號	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
漁業ノ位置	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
條件又ハ制	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
限ノ事項	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
村漁業組合		
免許番號 第一五六〇號	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
漁業ノ位置	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
條件又ハ制	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
限ノ事項	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
以外ノ漁具漁法ヲ以テ捕獲スル者アル		
モ之ヲ拒ムヘカラス		
漁業權者	長崎縣下縣郡船越村大字原浦及	
村漁業組合		

明治四十一年十一月 告示 農商務省第二百九十三號

明治四十一年十一月告示 農務省第二百九十三號

Table of fishing regulations with multiple columns listing types of fishing (e.g., 鮑網漁業, 海鼠漁業), locations (e.g., 長崎縣下縣郡佐須村大字), and dates (e.g., 自十一月三十日).

農務省告示第二百九十四號 森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ德島縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ下欄ノ通り之ヲ處分ス

農務省告示第二百九十五號 明治四十一年十一月十日左記專用漁業權者ノ代表者ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

農務省告示第二百九十六號 明治四十一年十一月六日左記入漁ニ關スル事項ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

明治四十一年十一月告示 農務省第二百九十四號 第二百九十五號 第二百九十六號

明治四十一年十一月 告示 農商務省第二百九十八號

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同
三九 三七 三六 三五 三四 三三 三二 三一 三〇 二九 二八 二七 二六 二五 二四 二三 二二

一六二五 一八〇七 四四一五 一六三三 一〇三三 二八一五 一七一五 一六一五 八三三 一一一五 一〇一五 一八三三 一四〇〇 四八三三 一〇七 二二五 七三三 四〇〇 六〇〇 四〇七 一三〇〇 一七〇〇 一三〇八 二二二二 二二〇八 二二〇八 一三三三

二二二六

明治四十一年十一月 告示 農商務省第二百九十八號

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
蛇ノ尾

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
中根山 寺屋敷

同
一〇九九 一〇六八 一〇四一 一〇二二 一〇〇三 九八四 九六五 九四六 九二七 九〇八 八八九 八七〇 八五一 八三二 八一三 七九四 七七五 七五六 七三七 七一四 六九五 六七六 六五七 六三八 六一九 六〇〇 五八〇 五六〇 五四〇 五二〇 五〇〇 四八〇 四六〇 四四〇 四二〇 四〇〇 三八〇 三六〇 三四〇 三二〇 三〇〇 二八〇 二六〇 二四〇 二二〇 二〇〇 一八〇 一六〇 一四〇 一二〇 一〇〇 八〇 六〇 四〇 二〇 一〇 一

一三〇〇 四八〇〇 九二四 一一一五 一四〇〇 一四〇〇 六六〇六 四三〇四 五三三九 二四〇一 一四一〇 二二三三 五七〇二 六七〇二 三六〇一 三六〇〇 一八一八 四七〇三 五七〇四 五一九 四三〇三 九二五 七四七三 四八二〇 一一二二 三五〇三 四八二六 二九四〇

二二二七

○農商務省告示第三百三號
森林法ニ依リ保安林編入ニ關シ宮崎縣知事ニ於テ告示シタル左記ノ箇所ハ之ヲ保安林ニ編入セ

明治四十一年十一月二十日

農商務大臣 男爵大浦兼武

縣	郡	村	大字	字	地番	告示面積	所有者
宮崎	同	同	同	川南	一七、六八八	六五、〇〇〇	同
				川南	一七、六八九	七〇、〇〇〇	同
同	同	同	同	大内敷	一七、六八九	七〇、〇〇〇	同
				上面木	一七、六九〇	一五、六〇〇	同

○農商務省告示第三百四號
森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十一年十一月二十日

農商務大臣 男爵大浦兼武

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	所有者
熊本	同	同	同	北栗木	五六〇	三三、一五〇	同
				小坂	五六〇	三三、一五〇	同

○農商務省告示第三百五號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年十一月二十日

農商務大臣 男爵大浦兼武

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	所有者
熊本	同	同	同	坂本	四三三	四三三	同
				坂本	四三三	四三三	同

○農商務省告示第三百六號
森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十一年十一月二十一日

農商務大臣 男爵大浦兼武

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	所有者
德島	同	同	同	川内	九二	三七二	小松 英夫
				大山	八七一	七九二九	安藝 芳郎
				神宅	八二	一八〇八	大谷 岡藏
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
				同	同	同	同
同	同	同	同				

○農商務省告示第三百七號
森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ德島縣知事ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セス

明治四十一年十一月二十一日

農商務大臣 男爵大浦兼武

縣	郡	町	大字	字	地番	告示面積	所有者
德島	同	同	同	小松島	二八二	二八二	同
				小松島	二八二	二八二	同

○農商務省告示第三百八號
森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ德島縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ下欄ノ通之ヲ處

明治四十一年十一月 告示 農商務省第三百七號 第三百八號

明治四十一年十一月一日 告示 農商務省第三百十號

Table listing fishing licenses with columns for license types (e.g., 川漁, 山漁, 池漁), locations (e.g., 浦所, 柳山, 喜多), and dates. Includes entries for 川瀬, 山瀬, etc.

二三五〇

○農商務省告示第三百十一號
明治四十一年十一月二十二日左記入漁ニ關スル事項ヲ免許漁業原簿ニ登錄セリ

明治四十一年十一月二十一日

農商務大臣 男爵大浦兼武
入漁權者 佐賀縣佐賀郡西川副村、西川副村
漁業組合

Table listing fishing licenses with columns for license types (e.g., 川漁, 山漁, 池漁), locations (e.g., 浦所, 柳山, 喜多), and dates. Includes entries for 川瀬, 山瀬, etc.

明治四十一年十一月一日 告示 農商務省第三百十一號

二三五一

鮑魚漁業 免許番號 第一五七三號 漁場ノ位置 山口縣都濃郡大華村大字大島地 漁業權者 山口縣都濃郡下松町五百八十八番屋敷、小島與左衛門	鮑魚漁業 免許番號 第一五七四號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡島子村ノ地先 漁業權者 熊本縣天草郡島子村、島子村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七五號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡相浦村ノ地先 漁業權者 熊本縣天草郡相浦村、相浦村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七六號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡相浦村、相浦村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七七號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮江村、宮江村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七八號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡山打赤島漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七九號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡山打赤島漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八〇號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡山打赤島漁業組合
鮑魚漁業 免許番號 第一五七一號 漁場ノ位置 鹿手縣上閉伊郡大樋町大字吉里吉里ケナシ島ノリ以北大澤川ニ至ル吉里吉里地先 漁業權者 鹿手縣上閉伊郡大樋町大字吉里吉里吉里吉里漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七二號 漁場ノ位置 山口縣都濃郡下松町地先 漁業權者 山口縣都濃郡下松町五百八十八番屋敷、小島與左衛門	鮑魚漁業 免許番號 第一五七三號 漁場ノ位置 山口縣都濃郡大華村大字大島地 漁業權者 山口縣都濃郡下松町五百八十八番屋敷、小島與左衛門	鮑魚漁業 免許番號 第一五七四號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡島子村ノ地先 漁業權者 熊本縣天草郡島子村、島子村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七五號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡相浦村ノ地先 漁業權者 熊本縣天草郡相浦村、相浦村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七六號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡相浦村、相浦村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七七號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮江村、宮江村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七八號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡山打赤島漁業組合

鮑魚漁業 免許番號 第一五八一號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡有川村ノ浦郷 漁業權者 長崎縣南松浦郡有川村東浦漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八二號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡有川村ノ浦郷 漁業權者 長崎縣南松浦郡有川村東浦漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八三號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡有川村太田郷ノ相ノ島以外ノ地先 漁業權者 本権ノ漁業ヲ爲シ得ル組合員ハ太田郷居住ノ者ニ限ルモノトス	鮑魚漁業 免許番號 第一五八四號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡有川村小川原郷 漁業權者 長崎縣南松浦郡有川村東浦漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八五號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡有川村阿瀬郷 漁業權者 長崎縣南松浦郡有川村東浦漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八六號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡玉之浦村大寶郷ノ黒崎島東ノ地先 漁業權者 長崎縣南松浦郡玉之浦村大寶郷漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八七號 漁場ノ位置 長崎縣西彼杵郡大串村ノ地先 漁業權者 長崎縣西彼杵郡大串村、西彼杵郡大串村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八八號 漁場ノ位置 長崎縣西彼杵郡大串村、西彼杵郡大串村漁業組合
鮑魚漁業 免許番號 第一五七三號 漁場ノ位置 山口縣都濃郡大華村大字大島地 漁業權者 山口縣都濃郡下松町五百八十八番屋敷、小島與左衛門	鮑魚漁業 免許番號 第一五七四號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡島子村ノ地先 漁業權者 熊本縣天草郡島子村、島子村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七五號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡相浦村ノ地先 漁業權者 熊本縣天草郡相浦村、相浦村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七六號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡相浦村、相浦村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七七號 漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮江村、宮江村漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七八號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡山打赤島漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五七九號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡山打赤島漁業組合	鮑魚漁業 免許番號 第一五八〇號 漁場ノ位置 長崎縣南松浦郡山打赤島漁業組合

明治四十一年十一月 告示 農商務省第三百四十四號

○農商務省告示第三百十五號

明治四十一年十一月十七日左記專用漁業權者ノ代表者ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ
 明治四十一年十一月二十四日

農商務大臣 男爵大浦兼武

明治四十一年三月二十
 五日免許第五八〇號

專用漁業權

漁業權者ノ代表者

熊本縣宇土郡松合村大字
 松合二百九十九番地 山中 萬吉

○農商務省告示第三百十六號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ福岡縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ下欄ノ通之ヲ處分ス

明治四十一年十一月二十五日

農商務大臣 男爵大浦兼武

福岡縣 糸島郡 小宮土村 大字 松原

地番 告示面積
 二、一五三 町畝歩
 一、六二五 町畝歩
 實測町畝歩
 三、三四〇
 町畝歩
 六、八八九

○農商務省告示第三百十七號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年十一月二十五日

農商務大臣 男爵大浦兼武

長野縣 東筑摩郡 里山邊村 大字 丁タラ澤

地番 面積
 六八九 町畝歩
 實測町畝歩
 二、三四〇
 町畝歩
 六、八八九

○農商務省告示第三百十八號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十一年十一月二十日

農商務大臣 男爵大浦兼武

字	地番	面積	所有者
長崎縣東彼杵郡佐世村大字山中	六八ノ口	二〇二	松崎 長平
	六八ノ一	二〇二	松崎 九十郎
	一〇一	二〇二	太田 泰
	一〇二	二〇二	太田 泰
	一〇三	二〇二	太田 泰
	一〇四	二〇二	太田 泰
	一〇五	二〇二	太田 泰
	一〇六	二〇二	太田 泰
	一〇七	二〇二	太田 泰
	一〇八	二〇二	太田 泰
	一〇九	二〇二	太田 泰
	一一〇	二〇二	太田 泰
	一一一	二〇二	太田 泰
	一一二	二〇二	太田 泰
	一一三	二〇二	太田 泰
	一一四	二〇二	太田 泰
	一一五	二〇二	太田 泰
	一一六	二〇二	太田 泰
	一一七	二〇二	太田 泰
	一一八	二〇二	太田 泰
一一九	二〇二	太田 泰	
一二〇	二〇二	太田 泰	
一二一	二〇二	太田 泰	
一二二	二〇二	太田 泰	
一二三	二〇二	太田 泰	
一二四	二〇二	太田 泰	
一二五	二〇二	太田 泰	
一二六	二〇二	太田 泰	
一二七	二〇二	太田 泰	
一二八	二〇二	太田 泰	
一二九	二〇二	太田 泰	
一三〇	二〇二	太田 泰	
一三一	二〇二	太田 泰	
一三二	二〇二	太田 泰	
一三三	二〇二	太田 泰	
一三四	二〇二	太田 泰	
一三五	二〇二	太田 泰	
一三六	二〇二	太田 泰	
一三七	二〇二	太田 泰	
一三八	二〇二	太田 泰	
一三九	二〇二	太田 泰	
一四〇	二〇二	太田 泰	
一四一	二〇二	太田 泰	
一四二	二〇二	太田 泰	
一四三	二〇二	太田 泰	
一四四	二〇二	太田 泰	
一四五	二〇二	太田 泰	
一四六	二〇二	太田 泰	
一四七	二〇二	太田 泰	
一四八	二〇二	太田 泰	
一四九	二〇二	太田 泰	
一五〇	二〇二	太田 泰	
一五一	二〇二	太田 泰	
一五二	二〇二	太田 泰	
一五三	二〇二	太田 泰	
一五四	二〇二	太田 泰	
一五五	二〇二	太田 泰	
一五六	二〇二	太田 泰	
一五七	二〇二	太田 泰	
一五八	二〇二	太田 泰	
一五九	二〇二	太田 泰	
一六〇	二〇二	太田 泰	
一六一	二〇二	太田 泰	
一六二	二〇二	太田 泰	
一六三	二〇二	太田 泰	
一六四	二〇二	太田 泰	
一六五	二〇二	太田 泰	
一六六	二〇二	太田 泰	
一六七	二〇二	太田 泰	
一六八	二〇二	太田 泰	
一六九	二〇二	太田 泰	
一七〇	二〇二	太田 泰	
一七一	二〇二	太田 泰	
一七二	二〇二	太田 泰	
一七三	二〇二	太田 泰	
一七四	二〇二	太田 泰	
一七五	二〇二	太田 泰	
一七六	二〇二	太田 泰	
一七七	二〇二	太田 泰	
一七八	二〇二	太田 泰	
一七九	二〇二	太田 泰	
一八〇	二〇二	太田 泰	
一八一	二〇二	太田 泰	
一八二	二〇二	太田 泰	
一八三	二〇二	太田 泰	
一八四	二〇二	太田 泰	
一八五	二〇二	太田 泰	
一八六	二〇二	太田 泰	
一八七	二〇二	太田 泰	
一八八	二〇二	太田 泰	
一八九	二〇二	太田 泰	
一九〇	二〇二	太田 泰	
一九一	二〇二	太田 泰	
一九二	二〇二	太田 泰	
一九三	二〇二	太田 泰	
一九四	二〇二	太田 泰	
一九五	二〇二	太田 泰	
一九六	二〇二	太田 泰	
一九七	二〇二	太田 泰	
一九八	二〇二	太田 泰	
一九九	二〇二	太田 泰	
二〇〇	二〇二	太田 泰	
二〇一	二〇二	太田 泰	
二〇二	二〇二	太田 泰	

明治四十一年十一月 告示 農商務省第三百十八號

幣名	單位	兌換率	備註
暹羅幣	一 セント	八五・八三三	一圓二付「一」
暹羅幣	一 セント	八五八	一圓二付「二」
暹羅幣	一 セント	八六九	一圓二付「三」
暹羅幣	一 セント	八六八七五	一圓二付「四」
暹羅幣	一 セント	八六八七五	一圓二付「五」
暹羅幣	一 セント	八六八七五	一圓二付「六」
暹羅幣	一 セント	八六八七五	一圓二付「七」
暹羅幣	一 セント	八六八七五	一圓二付「八」
暹羅幣	一 セント	八六八七五	一圓二付「九」
暹羅幣	一 セント	八六八七五	一圓二付「十」

(備考) 羅馬尼亞貨幣「ルー」及「バニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。*香港爲替中劉公島及寧波ニ振宛ツルモノニハ銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○遞信省告示第六十四號

明治三十七年六月 遞信省告示第二百十七號外國電報料金表第二表韓國地方ノ部中「三浪津」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

金城

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六十五號

明治四十年九月 遞信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表「第一通常爲替」一 直接交換國「甲」羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノノ部獨逸保護國獨領南西亞弗利加ノ項中「レホポート」(Rohopoth)ノ次ニ「ゼーハイム」(Seehaim)ヲ加フ

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六十六號

明治四十年九月 遞信省告示第五百七十六號本邦ト代金引換書留郵便物ヲ交換スル國名表中獨領南西亞弗利加ノ項取扱局「オタウ井」ノ次ニ「オトイワロンゴ」ヲ「レホポート」ノ次ニ「ゼーハイム」ヲ「スプアコプムンド」ノ次ニ「ツメブ」ヲ追加ス

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六十七號

明治四十一年十一月八日ヨリ安來松江間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ如シ

遞信大臣 男爵後藤新平

安來荒島間
荒島掛屋間

三哩
三哩五分

掛屋馬場間
馬場松江間

一哩九分
四哩一分

○遞信省告示第六十八號

本月五日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月 遞信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

遞信大臣 男爵後藤新平

八幡郵便局

滋賀縣蒲生郡八幡町

加悦郵便局

京都府與謝郡加悦町

○遞信省告示第六十九號

明治四十一年九月 遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七十五號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月五日

名稱 水見郵便局

位置 富山縣水見郡水見町

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七十六號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月五日

遞信大臣 男爵後藤新平

「越中國婦負郡東吳羽村大字五福」ノ項ノ次ニ

一越中國水見郡水見町、窪村大字窪村、同窪新、加納村大字加納字向島、同諏訪野、同野村、同新道、稻積村大字稻積字新道

○遞信省告示第七十七號

明治二十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月五日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外
通話區域

一通話ノ
電話料

一回ノ電
話呼出料

「金澤安宅間」ノ次ニ

金澤水見間

金二十五錢

金十五錢

「富山水橋間」ノ次ニ

富山水見間

金二十錢

金十五錢

「高岡水橋間」ノ次ニ

高岡水見間

金十錢

金十錢

「石動伏水間」ノ次ニ

石動水見間

金二十錢

金十五錢

「伏水水橋間」ノ次ニ

伏水水見間

金十錢

金十錢

「松任安宅間」ノ次ニ

新港水見間

金十錢

金十錢

○遞信省告示第七十八號

明治四十年九月遞信省告示第五百七十五號本邦ト別配達郵便物ヲ交換スル國中「智利」ノ項ノ次ニ左ノ項ヲ追加ス

明治四十一年十一月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

古倫比亞

但シ「ボリネタ」(Bolivia)宛ノモノニ限ル

○遞信省告示第七十九號

本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月遞信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十一年十一月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

名稱 川ノ石郵便局

位置 愛媛縣西宇和郡川之石村

○遞信省告示第八十號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局

加 入

愛媛縣 西宇和郡

川之石村

區

域

高松 川ノ石

宮内村

喜須來村

大字 喜木

字清水、同駄場、同西ノ河内、同大竹、字喜木町、同磯岡、同今井、同城高

○逓信省告示第八十一號

北海道根室國根室港口辨天島燈竿ハ燈臺ニ改築工事中假燈點火ノ處(本年八月逓信省告示第七百六十七號參照)本月十日以後假燈ヲ撤去シ左記ノ燈臺ニ點火ス

明治四十一年十一月六日

逓信大臣 男爵後藤新平

辨天島燈臺

一構造及著色 鐵造圓柱形、白色

一自燈火高 二丈一尺

一自燈火面高 五丈六尺

一等級及燈質 無等アセチリン瓦斯紅白互光、燈光發射ノ時間ハ紅光白光各十秒時間

一燭光數 白光二百、紅光八十

一光達距離 晴天ノ夜白光十三哩、紅光八哩

一位 置 明弧及休燈期間ハ從前ノ通

○逓信省告示第八十二號

本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十一年十一月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

位 置

名 稱

位 置

舞坂郵便局 靜岡縣濱名郡舞坂町
袋井郵便局 靜岡縣袋井郡山名町
堀ノ内郵便局 靜岡縣小笠郡西方村

修善寺郵便局 靜岡縣田方郡修善寺村
森町郵便局 靜岡縣周智郡森町
焼津郵便局 靜岡縣志太郡焼津町

○逓信省告示第八十三號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通過加ス

明治四十一年十一月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	加	入	區	域
橫濱	舞坂	靜岡縣	濱名郡	舞坂町	大字 舞坂宿
		靜岡縣	磐田郡	山名町	大字 山名宿
		靜岡縣	小笠郡	西方村	大字 堀ノ内
		靜岡縣	田方郡	加茂村	大字 修善寺
		靜岡縣	周智郡	森町	大字 森
同	袋井	靜岡縣	磐田郡	久努西村	同 久能
同	堀ノ内	靜岡縣	小笠郡	西方村	同 堀ノ内
同	修善寺	靜岡縣	田方郡	加茂村	同 本所
同	森町	靜岡縣	周智郡	森町	同 森
同	飯田	靜岡縣	田方郡	飯田村	同 城下
同	天方	靜岡縣	周智郡	天方村	同 天方
		靜岡縣	周智郡	大島	同 大島

明治四十一年十一月 告示 逓信省第八十三號

同 燒津

静岡県	志太郡	燒津町	大字	燒津北
同	同	同	同	燒津
同	同	同	同	新屋
同	同	同	同	城ノ腰
同	同	同	同	北新田
同	同	同	同	鯉ヶ島
同	同	同	同	中
同	同	同	同	大村新田
同	同	同	同	小川
			宇	宇
			堤	下
				溝
				町
				向

○遞信省告示第八十四號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月七日

名稱 勿來郵便局

位置 福島縣石城郡窪田村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第八十五號

明治三十六年三月 勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月七日

名稱 比良松郵便局

位置 福岡縣朝倉郡宮野村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第八十六號

本月九日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ電信事務ヲモ取扱フ但シ陸軍特別大演習大本營構内ニ發受スルモノノ外取扱ハス

明治四十一年十一月七日

名稱 陸軍特別大演習大本營内郵便局

位置 奈良縣奈良市春日野町

遞信大臣 男爵後藤新平

等級 二等

○遞信省告示第八十七號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月七日

名稱 那須郵便局

位置 栃木縣那須郡那須村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第八十八號

本月十日ヨリ同十五日マテ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月七日

名稱 法隆寺電信取扱所

位置 奈良縣生駒郡宮郷村法隆寺停車場(帝國陸)(小泉局)

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第八十九號

長崎縣肥前國平戸島ノ南方伏瀨掛燈立標(本年十月遞信省告示第十二號參照)ハ左記ノ通燈火ス

明治四十一年十一月七日

伏瀨掛燈立標

遞信大臣 男爵後藤新平

一位 位置 北緯三十三度四分四十秒、東經百二十九度二十六分二十八秒(水路部出版第九

十八號海圖)

一構造及著色 コンクリート造圓形、紅黒横線

一自水面高 六丈五尺

一等級及燈質 第六等不動白色

一明弧 全度

一燭光數 百

一光達距離 晴天ノ夜九哩

一記

事 本燈ニハ別ニ看守員ヲ置カサルヲ以テ萬一消滅スルトキハ再ヒ點火スルマテ多少ノ時間ヲ要ス航海者宜シク注意スヘシ

○逓信省告示第九十號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 米澤市仲間町郵便局

位置 米澤市仲間町

○逓信省告示第九十一號

明治四十一年三月逓信省告示第二百二十九號外國小包郵便料金表(第一 郵便料金及隨意規定事項ノ部)中智利ノ部聯合ノ各項代金引換表示貨幣ノ欄ニ「法」山ヲ及同金額制限ノ欄ニ「五〇〇」ヲ加フ

明治四十一年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第九十二號

明治三十年月十二 逓信省告示第三百五十七號中佐賀局電話加入區域ニ左ノ追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十一年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

一特別加入區域佐賀縣佐賀郡嘉瀬村大字中原字西今宿ノ下ニ

○逓信省告示第九十三號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年十一月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 武生郵便局

位置 福井縣南條郡武生町

○逓信省告示第九十四號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

逓信大臣 男爵後藤新平

英貨	佛貨	米貨	獨貨	關貨	地地利貨幣	瑞威那典貨幣	*香港洋銀	*盤銀
一パウンド	一フランク	一セント	一マルク	一フロリン	一クロローネ	一クロローネ	一ダラー	一ダラー
九七九・五九二	三九・〇九〇	二〇・〇〇〇	一八・〇七〇	八一・五八〇	四一・三九〇	五三・三〇〇	八五・五五〇	八四・六五〇
一圓ニ付 2/0 ¹ 即チ	一圓ニ付 二「フランク」五十五「サ	一圓ニ付 49 ¹ 即チ	一圓ニ付 二「マルク」〇八「フェン	一圓ニ付 二「フロリン」二十二「セ	一圓ニ付 「クロローネ」四十一	一圓ニ付 「クロローネ」八十四「オ	一圓ニ付 「ダラー」十四「セント	一圓ニ付 「ダラー」十五「セント」
ニ「シリング」〇「ペン	ニ「フランク」八二〇	四十九「セント」五〇〇	ニ「マルク」〇八「フェン	ニ「フロリン」五七九	ニ「クロローネ」六〇四	ニ「クロローネ」六二	八五「セント	八四「セント

(備考) 羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。*香港爲替中劉公島及濰波ニ振宛ツルモノニハ銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○遞信省告示第九十五號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十日

名稱 神戸生田前郵便局 位置 神戸市三宮町一丁目 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第九十六號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十日

名稱 前郷郵便局 位置 秋田縣由利郡東蘆澤村 遞信大臣 男爵後藤新平

下檜木内郵便局

秋田縣仙北郡檜木内村

岩崎郵便局

秋田縣平鹿郡岩崎村

○遞信省告示第九十七號

本日限り左記電信取扱所ニ於ル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十一年十一月十日

名稱 十文字電信取扱所 位置 秋田縣平鹿郡十文字村 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第九十八號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ高島郵便局ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月十日

名稱 落部郵便局 位置 北海道渡島國落部郡落部村 遞信大臣 男爵後藤新平

高島郵便局

北海道後志國高島郡高島村

○遞信省告示第九十九號

明治三十三年ハ遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ實施ス

明治四十一年十一月十日

「信濃國北佐久郡岩村田町大字山岩村田」ノ項ノ次ニ

一信濃國上水内郡神村大字豐野(字小瀬同泉平、同日影、同泥ノ木ヲ除ク)同石字狐山同鷲寺

○遞信省告示第千一百號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十日

名稱 茅ヶ崎郵便局 位置 神奈川縣高座郡茅ヶ崎町 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十日

名稱 久居郵便局 位置 三重縣一志郡久居町 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百二號

明治三十三年ハ遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中「伊勢國三重郡富田村大字東富田」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十日

一伊勢國一志郡久居町、本村大字小戸木同本村(字井戸山、同入口山、同野村、同小野邊、同相川、同洗ヶ瀬、同横山、同大澤ヲ除ク)、桃園村大字川方(字大口ヲ除ク)

○遞信省告示第千一百三號

明治三十九年ハ遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十日

遞信大臣 男爵後藤新平

「長東京松坂間」ノ次ニ	加入區域外	一通話ノ	電話料	一回ノ電
「長橫濱一ノ宮間」ノ次ニ	長東京久居間	金一圓二十錢		金二十五錢
「名古屋松坂間」ノ次ニ	長橫濱久居間	金一圓十錢		金二十五錢
「豐橋安城間」ノ次ニ	名古屋久居間	金二十五錢		金十五錢
「桑名松坂間」ノ次ニ	豐橋久居間	金四十錢		金二十錢
「四日市松坂間」ノ次ニ	桑名久居間	金二十五錢		金十五錢
「津松坂間」ノ次ニ	四日市久居間	金二十錢		金十五錢
「山田松坂間」ノ次ニ	津久居間	金五錢		金五錢
「二見松坂間」ノ次ニ	山田久居間	金二十錢		金十五錢
「長松坂大阪間」ノ次ニ	松坂久居間	金十錢		金十錢
	長久居大阪間	金三十五錢		金二十錢

○逓信省告示第千四百號
 本日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
 明治四十一年十一月十一日
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千四百五號
 明治三十年月二逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中左記町村ヲ本日ヨリ電話加入區域ヨリ
 削除ス
 明治四十一年十一月十一日
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千四百六號
 明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス
 明治四十一年十一月十一日
 逓信大臣 男爵後藤新平

大阪府	東成郡	墨江村
加	住吉村	
大阪府	東成郡	安立町
加	救津村	
西成郡	長居村	
依	羅村	
粉	濱村	

○逓信省告示第千四百七號
 明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス
 明治四十一年十一月十一日
 逓信大臣 男爵後藤新平

「京都丹波市間」ノ次ニ
 加入區域外
 一通話ノ
 電話料
 一回ノ電
 話呼出料
 金二十五錢
 金十五錢

「大阪帶解間」ノ次ニ	大阪住吉間	金五錢	金五錢
「堺田原本間」ノ次ニ	堺住吉間	金五錢	金五錢
「和歌山五條間」ノ次ニ	和歌山住吉間	金二十五錢	金十五錢
「奈良帶解間」ノ次ニ	奈良住吉間	金二十錢	金十五錢
「奈良尼ヶ崎間」ノ次ニ	岸和田住吉間	金十五錢	金十錢
「濱寺奈良間」ノ次ニ	濱寺住吉間	金十錢	金十錢
「八尾櫻井間」ノ次ニ	八尾住吉間	金十錢	金十錢
「丹波市神戸間」ノ次ニ	住吉 神戸間	金二十錢	金十五錢
	住吉 尼ヶ崎間	金十錢	金十錢
	住吉 西ノ宮間	金二十五錢	金十錢
	住吉 御影間	金二十錢	金十五錢
	住吉 須磨間	金二十錢	金十五錢

○逓信省告示第千八百八號
 本月十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
 明治四十一年十一月十一日
 名 稱 太田郵便局
 位 置 茨城縣久慈郡太田町
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千九百九號
 明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通過加ス
 明治四十一年十一月十一日

監督局 開設局 茨城縣 久慈郡 入
 宇都宮 太田 太田町 大字馬場 宇 内宿、同外宿
 茨城縣 久慈郡 佐竹村 同 磯部 宇 宿

○逓信省告示第千一百十號
 明治二十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通改
 正シ本日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十一年十一月十一日

加入區域外 通話區域	加入區域外 電話料	加入區域外 電話呼出料
江尻與津間 金五錢	今町見付間 金五錢	一回ノ電 話呼出料
沼津三島間 金五錢	池上川崎間 金五錢	一回ノ電 話呼出料
武生歸江間 金五錢	濱寺神戶間 金二十錢	一回ノ電 話呼出料
宮津岩瀬間 金五錢	鎌倉葉山間 金五錢	一回ノ電 話呼出料
奈良郡山間 金五錢	神戶御影間 金五錢	一回ノ電 話呼出料
奈良郡山間 金五錢	御影明石間 金二十五錢	一回ノ電 話呼出料
奈良郡山間 金五錢	京都明石間 金二十五錢	一回ノ電 話呼出料
山鹿來民間 金五錢	京都明石間 金二十五錢	一回ノ電 話呼出料
佐賀諸宮間 金五錢	須磨舞子間 金二十五錢	一回ノ電 話呼出料

「東京蒲田間」蒲田橫濱間及「日光中宮祠間」ヲ削除ス
 左記各地ノ通話區域ヲ削除シ下記括弧内ノ地ノ通話區域、電話料及電話呼出料ニ依ル
 導子(葉山二色(葉山) 飯沼(藤澤) 鹽屋(舞子)

明治四十一年十一月 告示 遞信省第千一百一十一號 第千一百一十二號 第千一百一十三號 第千一百一十四號 第千一百一十五號 二三八四

○遞信省告示第千一百一十一號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
明治四十一年十一月十一日
名 稱 濱松盛原郵便局
位 置 静岡縣濱名郡濱松町
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一十二號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十一年十一月十二日
名 稱 深草郵便局
位 置 京都府紀伊郡深草村
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一十三號

本月十五日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス
明治四十一年十一月十二日
名 稱 稻荷電信取扱所
位 置 京都府紀伊郡深草村
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一十四號

本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス
明治四十一年十一月十二日
現名稱 本所押上通郵便局
改 稱 本所柳島元町郵便局
位 置 東京市本所區柳島元町
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一十五號

明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十一年十一月十二日
名 稱 入間川郵便局
位 置 埼玉縣入間郡入間川町
青柳郵便局
山梨縣南巨摩郡増穂村
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一十六號

本月十五日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス
明治四十一年十一月十二日
名 稱 入間川電信取扱所
位 置 埼玉縣入間郡入間川町
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一十七號

明治四十年九月遞信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表中「第一 通常爲替」一 直接交換國「甲 羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノ」ノ部附註ノ項蘭領東印度ニ於ケル外國郵便爲替取扱局名ニ左ノ通追加ス
明治四十一年十一月十二日
遞信大臣 男爵後藤新平

a、b、c 順ニ左ノ二局ヲ加フ

- クートアルサム (Kootenai)
- 瓜哇 (Java)
- パライン (Parain)
- 瓜哇 (Java)
- サムバン (Sampan)
- マンーラ (Mandora)

○遞信省告示第千一百一十八號

本月十六日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六月遞信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十一年十一月十二日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千一百一十九號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號電話加入登記料、電話使用料、名義書換料及電話番號簿
明治四十一年十一月 告示 遞信省第千一百一十六號 第千一百一十七號 第千一百一十八號 第千一百一十九號
二三八五

揚蔽料ニ關スル土地種別中丙地八王子ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス

明治四十一年十一月十二日 逓信大臣 男爵後藤新平

新舞鶴 ○逓信省告示第千二百二十號

明治三十年月十二 逓信省告示第百五十七號電話加入區域中「八王子」ノ次ニ左ノ追加ス

明治四十一年十一月十二日 逓信大臣 男爵後藤新平

局名 普通加入區域
新舞鶴 京都府加佐郡新舞鶴町大字濱、同北吸、同市泉源寺、倉橋村大字森、同行永(字池邊ヲ除ク)、同堂奥、志樂村大字小倉、同田中、同泉源寺、餘部町(大字餘部下、同餘部上ノ中字奥山以外ノ字ヲ除ク)

○逓信省告示第千二百二十一號
本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十二日

名 稱 逓信大臣 男爵後藤新平
四萬郵便局 群馬縣吾妻郡澤田村 磯原郵便局 茨城縣多賀郡北中郷村

○逓信省告示第千二百二十二號
本月十五日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十一年十一月十二日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十三號
明治四十年月九 逓信省告示第百五十五號羅馬締結萬國郵便條約施行規則第四條各國貨幣佛貨相當額表中「サルヴァドル」ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治四十一年十一月十二日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十四號

明治四十年月九 逓信省告示第百五十八號羅馬締結小包郵便物交換條約施行規則第二條各國貨幣佛貨相當額表中「サルヴァドル」ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治四十一年十一月十三日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十五號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ久留米通町郵便局ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月十三日 逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 逓信大臣 男爵後藤新平
三池郵便局 福岡縣三池郡三池町 久留米通町郵便局 久留米市通町八丁目

○逓信省告示第千二百二十六號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配及電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十三日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十七號

本月三十日限り左記電信取扱所配達事務ヲ廢止ス
明治四十一年十一月十三日 逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 住吉電信取扱所 位置 大阪府東成郡墨江村

○逓信省告示第千二百二十八號

本月二十日ヨリ十二月十六日迄日本勸業銀行ニ於テ發賣スル第二十八回勸業債券ハ同期間内郵便局所ニ於テ之レカ購買媒介ヲ取扱フ

明治四十一年十一月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十九號

本月十六日ヨリ左記郵便局ノ等級ヲ改定ス

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千三百號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千三百一號

明治三十三年ハ逓信省告示第千三百一十四號電話呼出地域中「伊勢國三重郡富田村大字東富田」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千三百二號

明治四十一年三月逓信省告示第千二百二十九號外國小包郵便料金表(第一 郵便料金及隨意規定事項ノ部)中芬蘭ノ部聯合ノ項代金引換表示貨幣ノ欄ニ「圓錢」ヲ同金額制限ノ欄ニ「二〇〇」ヲ及同項

附註欄ニ「芬蘭宛代金引換小包ハ重量ニキログラム」迄ノモノニ限ルヲ加フ

○逓信省告示第千三百三號

明治三十四年十月逓信省告示第千三百八十九號ニ依リ發行セル改正增補萬國船舶信號書中左ノ通改正ス

逓信大臣 男爵後藤新平

第一編 各國地理信號

左ノ通追加ス

AD X W ノルデルネー燈船 Norderney Is. V.

左ノ信號ニ「S」符ヲ付ス

A C W E ニンメルサット Nimmsatt

第二編普通字彙信號增補之部及第三編假名分(カノニ)XBH(シノニ)WDOノ信號ノ次ニ左ノ通追加ス

Z N Q 海中信號

Z N R 海中信號

Z N S 海中信號受器 受取人

Z N T 海中信號所

○逓信省告示第千三百三十四號

明治三十九年六月逓信省告示第千二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス

逓信大臣 男爵後藤新平

長大宮岡谷間ノ次ニ

加入區域外	電話料	一回ノ電
電話區域	電話料	話呼出料
長大宮須坂間	金五十五錢	金二十錢

○逓信省告示第千三百三十五號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十四日

名 稱 柳井郵便局

位 置 山口縣玖珂郡柳井町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千三百三十六號

明治三十三年八月逓信省告示第百三十四號電話呼出地域中「周防國玖珂郡岩國町」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

一 周防國玖珂郡柳井町大字柳井津、同柳井字今市、同新町、同姫山、同樋ノ上、同中開作南平、同中開作北平、同後地、同尾上、大字古開作、字新屋敷、同蓬萊町、同中塚、同東上割

○逓信省告示第千三百三十七號

明治二十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 電話料 一回ノ電 話呼出料

長大阪福山間ノ次ニ

加入區域外	電話料	一回ノ電
電話區域	電話料	話呼出料
長大阪柳井間	金一圓十錢	金二十五錢
長神戶福山間	金一圓	金二十五錢

長神戶福山間ノ次ニ

長大阪柳井間

金一圓

金二十五錢

廣島福山間ノ次ニ

廣島柳井間	金二十五錢	金十五錢
長下關柳井間	金四十錢	金二十錢
岩國柳井間	金十五錢	金十錢

長下關福山間ノ次ニ

青原津和野間ノ次ニ

○逓信省告示第千三百二十八號
本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年十一月十四日

名 稱 魚津郵便局 位 置 富山縣下新川郡魚津町 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千三百二十九號

本月十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千四百十號

明治四十年四月逓信省告示第百二十三號別表第二號表熊本郵便局管轄中へ八幡郵便局ヲ追加シ明治四十一年十一月十六日ヨリ施行ス

明治四十一年十一月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千四百一十一號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 小野田郵便局 宮城縣加美郡小野田村 位 置 宮崎郵便局 宮城縣加美郡宮崎村

○遞信省告示第千四百四十二號
本月十六日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

明治四十一年十一月十四日

名 稱 坂下電信取扱所 位 置 岐阜縣惠那郡坂下村坂下停車場(第四區)(坂下局管)

○遞信省告示第千四百四十三號
明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十四日

名 稱 宮前郵便局 位 置 三重縣飯南郡宮前村 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千四百四十四號
本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月十四日

名 稱 小樽花園郵便局 位 置 北海道後志郡小樽區花園町 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千四百四十五號
明治四十一年十一月十六日ヨリ富山停車場ノ位置ヲ變更シ富山魚津間鐵道運輸ノ營業ヲ開始ス其

哩程左ノ如シ

明治四十一年十一月十四日

吳羽富山間	三哩	水橋	三哩四分
富山東岩間	四哩一分	滑川	五哩二分
東岩間水橋間	三哩一分	魚津間	

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千四百四十六號
富山魚津間貸切取扱貨物運賃ハ明治三十九年九月遞信省告示第四百號ヲ準用ス

明治四十一年十一月十四日

○遞信省告示第千四百四十七號
明治三十年十二月十二日遞信省告示第三百五十七號中富山局電話加入區域ニ左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十一年十一月十四日
一特別加入區域「富山縣婦負郡櫻谷村大字駒見」ノ下ニ
同牛島 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千四百四十八號
本月十六日ヨリ左記電信局ヲ設置シ無線電報ニ限り之ヲ取扱フ

明治四十一年十一月十四日

名 稱 ニッポン丸無線電信局 位 置 東洋汽船株式會社所屬汽船日本丸 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千四百四十九號
本月十六日ヨリ左記電信取扱所ヲ移轉ス

明治四十一年十一月十四日

名 稱 富山電信取扱所 現在位置 富山縣婦負郡櫻谷町 遞信大臣 男爵後藤新平
移轉位置 富山市發岩町

○遞信省告示第千五百五十號
本日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十一年十一月十六日

現名稱 富田郵便局

改稱 富山郵便局

逓信大臣 男爵後藤新平
位置 栃木縣下都賀郡富山村

○逓信省告示第千五百五十一號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十一年十一月十六日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千五百五十二號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十六日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局

開設局

栃木縣 那須郡 川西町

區

域

宇都宮 黒羽

加

入

大字 大豆田

宇向坪、同元坪
(字菊地開墾地ヲ除ク)

黒羽町

同 黒羽向

同 黒羽向

同 前田

同 黒羽田

同 黒羽田

同 堀ノ内

同 堀ノ内

同 入

同 入

○逓信省告示第千五百五十三號
神奈川縣武藏國横濱港外鶴見沖へ試験ノ爲メ左記ノ「アセトン」瓦斯掛燈浮標ヲ碇置セリ

明治四十一年十一月十六日

逓信大臣 男爵後藤新平

鶴見沖假設掛燈浮標

一構造及著色 鐵造圓筒形紅色、上部ニ圓柱ヲ建テ頂上ニ燈器ヲ掲ク

一自水面 一丈一尺

一燈質 「アセトン」瓦斯明暗白色

一水 燈光ハ時時紅色ニ變更スルコトアリ又燈光發射ノ時間ハ試験ノ爲メ一定セス

一深 大低潮時約四分ノ三

一方 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

十二天鼻ハ南二十四度三十三分西

英海軍倉庫旗竿ハ南四十六度十八分西

横濱北水堤燈臺ハ南六十五度四十三分西

○逓信省告示第千五百五十四號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十一年十一月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

英貨	一パウンド	九七五・五九二	一圓ニ付 二「シルリング」〇「パン
	一シルリング	四八・九八〇	ニ「五〇〇
佛貨	一フラン	四〇・八二	一圓ニ付 二「フラン」五十五「サ
	一フランク	三九・〇九〇	ン「チム」八二〇
米貨	一ダラー	二二〇・〇〇〇	一圓ニ付 四十九「セント」五〇〇
	一セント	二・〇〇〇	

獨貨	一マルク	四八〇七〇	一圓二付	「マルク」〇八「フェン」ニシテ「〇三〇
關貨	一フロリン	八一五八〇	一圓二付	「フロリン」二十二「セ
總地利貨幣	一クロローネ	四一三九〇	一圓二付	「クロローネ」四十一「ヘル」六〇四
瑞威貨幣	一クロローナ	五四・三〇〇	一圓二付	「クロローネ」八十四「オ
*香港洋銀	一ダラー	八五・三三三	一圓二付	「ダラー」十七「セント」
	一セント	・八五三		
*墨銀	一ダラー	八四・〇三三	一圓二付	「ダラー」十八「セント」
	一セント	・八四三		

(備考) 羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ*香港爲替中劉公島及露波ニ振宛ルモノニハ銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○遞信省告示第千五百五十五號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 知井郵便局 京都府北桑田郡知井村 東加舎郵便局 京都府南桑田郡本梅村
 ○遞信省告示第千五百五十六號
 本月十八日限り左記郵便局ヲ廢止ス但當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
 明治四十一年十一月十七日
 名 稱 位 置 名 稱 位 置
 長野共進會郵便局 長野市城山一府十縣聯合共進會管内 承繼局名 長野郵便局

○遞信省告示第千五百五十七號
本月十六日限り左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 陸軍特別大演習大本營内郵便局 奈良縣奈良市春日野町 承繼局名 奈良郵便局
 ○遞信省告示第千五百五十八號
 本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
 明治四十一年十一月十八日
 名 稱 位 置 名 稱 位 置
 南小谷郵便局 長野縣北安曇郡南小谷村 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千五百五十九號
來十一月一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ松山電信取扱所ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 松山電信取扱所 松山市久保町松山停車場(松山郵便局) 立花電信取扱所 愛媛縣温泉郡栗原村立花停車場(同)
 ○遞信省告示第千六百六十號
 明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
 明治四十一年十一月十八日
 名 稱 位 置 名 稱 位 置
 天津郵便局 島根縣簸川郡大津村 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千六百六十一號
明治三十七年六遞信省告示第百二十七號外國電報料金表中左ノ通改正ス

明治四十一年十一月十八日
 第一表 Africa (亞非利加地方)ノ部中「Oujda (ウジダ)」ノ項ノ次ニ左ノ通加フ
 遞信大臣 男爵後藤新平

明治四十一年十一月 告示 遞信省第千五百五十五號 第千五百五十六號

明治四十一年十一月 告示 遞信省第千六百六十二號 第千六百六十三號

二三九八

Penba Island(ペンバ島) 三・八六〇 三・一八〇
 Penba Island(Via Europe) 三・七五〇 三・四七〇
 第四表 South America(南亞米利加地方)ノ部中「Peru(ペルー)」ノ項ヲ削リ「French Guiana(Via Agores)」ノ項ノ次ニ左ノ通加フ

Peru(ペルー)			
Iquitos(イキトス)	*	六・四〇	七・〇二〇
Masison(マシソン)	*	五・四二〇	六・三〇〇
Orillani(オリラナ)	*	五・六六〇	六・五四〇
Requena(レケナ)	*	五・九〇〇	六・七八〇
*此ノ地ニ宛ル電報ニシテ「マデラ、バルナム、ビエゴ、ビエノス、エールス、ヴァルパライソ、リマ」線ヲ經テ傳送セントスルモノニハ「Via Madelina」ナル指定ヲ記入スルヲ要ス			
Other Places(其他各地)		五・〇二〇	五・九〇〇

○遞信省告示第千六百六十二號

大不列顛保護國「ソマリランド」及大不列顛殖民地「ケイマン」諸島ハ羅馬締結價格表記書狀及同箱物交換約定ニ加入セリ

明治四十一年十一月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千六百六十三號

明治四十年九月遞信省告示第五百九十三號外國宛價格表記書狀及同箱物郵便料金表名宛國欄中「英國殖民地」トアルヲ「英國殖民地及保護國」ト改メ且左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

一「セイシェルズ」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

「ソマリランド」
 「バルベワ、ビエゴ」
 「ラール、セーラン」
 (ニ限ル)

獨便 船伊海路 同前
 亞丁海路 同前

同前 同前

同前

許

The Superintendent of Post Offices, Berbera

許

許

二「備考」中「セイシェルズ」ノ次ニ「ソマリランド」ヲ加フ

○遞信省告示第千六百六十四號

帆船第二號竹村丸外五十四艘ニ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治四十一年十一月十九日

遞信大臣 男爵後藤新平

信號符字	番 號	種 類	船 名	船 籍 港	所 有 者
LFQT	七三五三	帆	第二號竹村丸	尼張國常滑町	竹村仁平
LG FV	九九七三	汽	第十九號安進丸	新潟 湯 市	株式會社安進社
LDCG	一〇八六三	帆	神 宮 丸	肥前國瀨島村	山崎和次郎
LDCG	一〇八六四	帆	成 德 丸	肥前國芦刈村	江口祐三
JGNP	一〇九五七	汽	種ヶ島丸	肥前國室蘭町	井上角五郎
JGNQ	一〇九五八	汽	御崎丸	肥前國室蘭町	井上角五郎
JGRT	一〇九八〇	帆	織 徳 丸	肥前國室蘭町	井上角五郎
LFMJ	一一〇九〇	汽	第壹觀音丸	土佐國潮江村	北代健太郎
LCNK	一一一七四	帆	第參安樂丸	東京 市	河津菊次
LGNB	一一二八七	帆	幸 福 丸	肥前國津村	藤原多一郎

明治四十一年十一月 告示 遞信省第千六百六十四號

二三九九

L F V M	L F V K	L H B C	L G W V	L G W T	L G W S	L G W R	L G W Q	L G W P	L G W N	L G W M	L G W K	L G W J	L G W H	L G Q K	L G N D	L G N C
一一四九三	一一四九二	一一四七七	一一四七六	一一四七四	一一四七三	一一四七二	一一四七一	一一四七〇	一一四六七	一一四六六	一一四六五	一一四六四	一一四六三	一一四二四	一一二八九	一一二八八
帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆
第二四五九丸	第貳幸榮丸	金福丸	金比羅丸	住吉丸	若吉丸	金吉丸	福住丸	悅榮丸	住力丸	金榮丸	妙見丸	金榮丸	第壹最上丸	稻荷丸	住榮丸	三榮丸
門司市	豐後國上入津村	伊豫國與居島村	周防國日真居村	伊豫國睦野村	周防國沖浦村	伊豫國與居島村	周防國日真居村	伊豫國相生村	周防國家室西方村	周防國日真居村	周防國日真居村	周防國日真居村	伊豫國西伯方村	橫濱市	肥後國姬戶村	肥後國富岡町
富田佐吉	間曾五郎吉	林田安藏	中本幸助	大久保市五郎	黒瀧千吉	田中常藏	伊藤善四郎	小野健次郎	木下茂作	中川愛藏	熊谷源太郎	柳田仁助	赤瀬絶松	關太助	橋本甚九郎	江川磯次郎

L F V N	L F V P	L F V Q	L F V R	L F V S	L D K B	L D K C	L D K A	L G T R	L G T S	L H R F	L H R G	L H R J	L H R K	L H R M	L H R N	L H R P	L H R Q
一一四九四	一一四九五	一一四九九	一一五〇二	一一五〇三	一一六一三	一一六一四	一一六一四	一一六五八	一一六五九	一一六六〇	一一六六一	一一六六二	一一六六三	一一六六四	一一六六五	一一六六六	一一六六九
帆	帆	帆	帆	帆	汽	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	汽	帆
金佐丸	政榮丸	朝日丸	第五大幸丸	金吉丸	瑞穂丸	難首丸	共進丸	住福丸	恒富丸	蛭子丸	金市丸	幸市丸	金光丸	共榮丸	大成丸	新榮丸	
豐前國八屋町	長門國藤山村	周防國下松町	豐後國白杵町	周防國上關村	神戶市	神戶市	安藝國東生口村	安藝國倉橋島村	安藝國大崎中野村	安藝國西野村	安藝國内海跡村	安藝國舍橋島村	安藝國大崎中野村	安藝國大崎南村	安藝國佐江崎村	安藝國仁方可	
柴田三次郎	名和田政助	長久勝藏	大塚傳	坂本菊松	山口嘉吉	高田角次郎	香川十太郎	踊場甚三郎	岩崎早治	進藤兼太郎	宮下寅藏	谷原保兵衛	一井源吉	山本吉之助	木村寛一	米重金四郎	

L H R S	一六七〇	帆	藤山丸	安藝國音戸町	中石若太郎
J H R T	一六七一	帆	第五幸福丸	安藝國大崎中野村	藤原久太郎
L H R V	一六七二	帆	八幡丸	安藝國名荷村	高木佐市郎
L H R W	一六七三	帆	灘吉丸	安藝國東野村	米元好太郎
L H J K	一六九三	帆	多開丸	日向國油津町	河野宗兵衛
L F P D	一七一四	帆	天神丸	大坂市	高田善七
L F P G	一七一八	帆	新勢丸	大坂市	店崎清吉
L F P H	一七一九	帆	桐音丸	紀伊國宮二橋村	柏木又吉
L F P J	一七二〇	帆	大丸	大坂市	森平
L F P K	一七二一	汽	十九永田丸	大坂市	永田三十郎
L H P V	一七六一	帆	榮丸	土佐國下田村	平田勝太郎

○逓信省告示第千六百六十五號
 本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
 明治四十一年十一月十九日
 名稱 逓信省告示第千六百六十六號
 逓信大臣 男爵後藤新平
 位 置 靜岡縣田方郡網代村
 明治四十一年十一月十九日
 逓信大臣 男爵後藤新平
 追加ス
 明治四十一年十一月十九日

一伊豆國田方郡網代村、多賀村大字下多賀字小山、同和田木
 ○逓信省告示第千六百六十七號
 明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追
 加ス
 明治四十一年十一月十九日
 逓信大臣 男爵後藤新平

東京網代間 金三十五錢 電話料
 加入區域外 電話料
 一話料
 電話呼出料

小田原網代間 金二十錢 電話呼出料

熱海三島間ノ次ニ 金十錢

沼津三島間ノ次ニ 金十五錢

伊東三島間ノ次ニ 金十錢

伊東網代間 金十錢

○逓信省告示第千六百六十八號
 明治四十年九月逓信省告示第五百九十三號外國宛價格表記書狀及同箱物郵便料金表中「在トリボ
 リ」及「ベンガシ」伊國郵便局及在「デニラッソ」等伊國郵便局ノ各項別配達欄ノ「*」ヲ「」ニ改メ且之
 ニ對スル附註ヲ削除ス
 明治四十一年十一月十九日
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千七百六十九號

明治四十一年三月逓信省告示第百二十九號外國小包郵便料金表第一郵便料金及隨意規定事項ノ部中左ノ通改正ス

明治四十一年十一月十九日

一亞米利加合衆國ニ關スル項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

逓信大臣 男爵後藤新平

名宛國	適用條約別ノ種	遞送線路	遞送郵船	小包各箇ニ對スル郵便料	價格表記	代金引換	小包各箇ニ對スル郵便料	遞送	取及更	代金引換	註
聯合海運會社	聯合海運會社	聯合海運會社	聯合海運會社	小包各箇ニ對スル郵便料	價格表記	代金引換	小包各箇ニ對スル郵便料	遞送	取及更	代金引換	註
聯合海運會社	聯合海運會社	聯合海運會社	聯合海運會社	小包各箇ニ對スル郵便料	價格表記	代金引換	小包各箇ニ對スル郵便料	遞送	取及更	代金引換	註
聯合海運會社	聯合海運會社	聯合海運會社	聯合海運會社	小包各箇ニ對スル郵便料	價格表記	代金引換	小包各箇ニ對スル郵便料	遞送	取及更	代金引換	註

一海峽殖民地馬來聯邦ノ部中海運會社經由ノ項ヲ削ル
一英領緬甸ノ項「羅越國及遞送郵船」ノ欄中「新嘉坡」トアルヲ「彼南」ト改ム

○逓信省告示第千七百七十號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十九日

○逓信省告示第千七百七十一號

明治三十三年八月逓信省告示第百二十四號電話呼出地域中「紀伊國海草郡日方町」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十九日

○逓信省告示第千七百七十二號

一紀伊國那賀郡粉河町大字粉河(字中)ノ中(同中山)同中山

明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十九日

○逓信省告示第千七百七十三號

加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月十九日

「大阪住吉間」ノ次ニ

「堺住吉間」ノ次ニ

「和歌山住吉間」ノ次ニ

「岸和田住吉間」ノ次ニ

大阪粉河間	金二十五錢	加入區域外通話區域	電話料	電話呼出料
堺粉河間	金二十錢	加入區域外通話區域	電話料	電話呼出料
和歌山粉河間	金十五錢	加入區域外通話區域	電話料	電話呼出料
岸和田粉河間	金十五錢	加入區域外通話區域	電話料	電話呼出料

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

「五條丹波市間」ノ次ニ

「上市田原本間」ノ次ニ

「下市田原本間」ノ次ニ

「京都住吉間」ノ次ニ

五條粉河間	金二十錢	金十五錢
上市粉河間	金二十五錢	金十五錢
下市粉河間	金二十錢	金十五錢
京都粉河間	金二十五錢	金十五錢

○逓信省告示第七十三號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十日

名 稱 淡路郵便局

位 置 長野縣東筑摩郡本郷村

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七十四號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月二十日

「信濃國上水内郡神郷村大字密寺」ノ項ノ次ニ

一信濃國東筑摩郡本郷村大字淡間同水汲字水汲

○逓信省告示第七十五號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十日

名 稱 北海道釧路國標別郵便局

位 置 北海道釧路國標別郵便局

流 名 郵便局

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七十六號

本日限リ左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十一年十一月二十日

名 稱 機別電信取扱所

位 置 北海道釧路國標別郵便局

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七十七號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十日

名 稱 布野郵便局

位 置 廣島縣三郡布野村

名 稱 山内西郵便局

位 置 廣島縣比婆郡山内西村

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七十八號

明治四十一年ハ逓信省告示第二百三十九號外國小包郵便料金表第三備考ノ部第三號小包ノ保管料

金表中伊太利ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

明治四十一年十一月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

白 露

一月五「サンタウキ」
(名宛人ニ依リ受取方ヲ拒絶セラレタル小包カ差出人ノ)
請求ニ依リ返送セララルル場合ニ限リ差出人ヨリ徴收ス)

○逓信省告示第七十九號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ

明治四十一年十一月二十日

名 稱 柏崎郵便局

位 置 新潟縣刈羽郡柏崎町

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十一年十一月 告示

逓信省第七十六號 第七十七號 第七十八號 第七十九號

○遞信省告示第千八百八十號
 本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年十一月二十日 遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 片瀨郵便局 位 置 神奈川県鎌倉郡川口村

○遞信省告示第千八百八十一號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十日 遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 横須賀郵便局 位 置 愛知縣幡豆郡横須賀村

○遞信省告示第千八百八十二號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十日 遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 大聖寺郵便局 位 置 石川縣江沼郡大聖寺町

○遞信省告示第千八百八十三號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月二十日 遞信大臣 男爵後藤新平

「加賀國能美郡安宅町」ノ項ノ次ニ
 一 加賀國江沼郡大聖寺町 福田村大字岡村 同菅生 同上福田、同敷地(字平床ヲ除ク) 南郷村大字南郷、三木村大字熊坂字出村

○遞信省告示第千八百八十四號
 明治二十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

加ス

明治四十一年十一月二十日

加入區域外
 通話區域

一 通話ノ
 電話料

一 同ノ電
 話呼出料

「金澤氷見間」ノ次ニ

金澤大聖寺間 金二十五錢 金十五錢

「小松安宅間」ノ次ニ

小松大聖寺間 金十五錢 金十錢

「松任安宅間」ノ次ニ

松任大聖寺間 金二十錢 金十五錢

「美川安宅間」ノ次ニ

美川大聖寺間 金二十錢 金十五錢

「新港氷見間」ノ次ニ

安宅大聖寺間 金十五錢 金十錢

「福井鯖江間」ノ次ニ

福井大聖寺間 金二十錢 金十五錢

○遞信省告示第千八百八十五號

香川縣讚岐國鹽飽瀨戸廣島ノ南西瓦洲浮標ハ流失セリ

明治四十一年十一月二十日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千八百八十六號

北海道渡島國松前郡白神岬燈臺へ設置ノ霧笛ハ吹鳴停止ノ處(本年十月遞信省告示第九百七十二號參照)本月十七日以後從前ノ通吹鳴ス

明治四十一年十一月二十日

遞信大臣 男爵後藤新平

明治四十一年十一月 告示 逓信省第千八百八十七號 第千八百八十八號 第千八百八十九號

二四一〇

○逓信省告示第千八百八十七號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 相如郵便局

位 置

佐賀縣東松浦郡相知村

○逓信省告示第千八百八十八號

明治三十三年八月逓信省告示第百二十四號電話呼出地域中「肥前國西松浦郡伊萬里町」ノ項ノ次ニ左ノ通退加ス

明治四十一年十一月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千八百八十九號

肥前國東松浦郡相知村大字相知(字押川ヲ除ク)、同中山、同山崎、同久保

○逓信省告示第百六十四號

加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通退加ス

明治四十一年十一月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外
通話區域

一通話ノ
電話料

一回ノ電
話呼出料

「福岡伊萬里間」ノ次ニ

福岡相知間

金二十五錢

金十五錢

「長崎伊萬里間」ノ次ニ

長崎相知間

金二十五錢

金十五錢

「佐賀伊萬里間」ノ次ニ

佐賀相知間

金二十錢

金十五錢

「唐津伊萬里間」ノ次ニ

唐津相知間

金十錢

金十錢

○逓信省告示第千九百九十號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 庄内郵便局

位 置

宮崎縣北諸縣郡庄内村

○逓信省告示第千九百九十一號

明治三十三年八月逓信省告示第百二十四號電話呼出地域中「日向國北諸縣郡都城町大字宮丸」ノ項ノ次ニ左ノ通退加ス

明治四十一年十一月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

日向國北諸縣郡庄内村字東、同西、同庄内町

○逓信省告示第千九百九十二號

明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通退加ス

明治四十一年十一月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

「鹿兒島川内間」ノ次ニ

加入區域外
通話區域

一通話ノ
電話料

一回ノ電
話呼出料

「宮崎谷山間」ノ次ニ

鹿兒島庄内間

金二十五錢

金十五錢

「都城川内間」ノ次ニ

宮崎庄内間

金二十錢

金十五錢

「都城庄内間」ノ次ニ

都城庄内間

金十錢

金十錢

○逓信省告示第千九百九十三號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十一年十一月 告示

逓信省第千九百九十號 第千九百九十一號

第千九百九十二號 第千九百九十三號

二四一一

明治四十一年十一月 告示 逓信省第千九百九十四號 第千九百九十五號 第千九百九十六號 二四二二

名 稱 位 置
 上田尻郵便局 新潟縣刈羽郡田尻村
 〇逓信省告示第千九百九十四號
 本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
 明治四十一年十一月二十一日
 名 稱 位 置
 川浦郵便局 新潟縣中頸城郡里五十公野村
 末野郵便局 新潟縣中頸城郡美守村
 〇逓信省告示第千九百九十五號
 本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ
 明治四十一年十一月二十四日
 名 稱 位 置
 〇逓信省告示第千九百九十六號
 左記ニカラガ外三國ハ夫夫左記羅馬締結諸條約ニ加入セリ
 明治四十一年十一月二十四日
 白 露 萬國郵便條約
 小包郵便物交換條約
 郵便爲替業務約定
 萬國郵便條約
 小包郵便物交換條約
 薩 爾 維 萬國郵便條約
 價格表記書狀及箱物交換約定
 小包郵便物交換條約
 郵便爲替業務約定

名 稱 位 置
 權谷郵便局 新潟縣刈羽郡高浪町
 大島郵便局 新潟縣東頸城郡大島村
 鹽野町郵便局 新潟縣岩手郡鹽野町村
 〇逓信省告示第千九百九十七號
 逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
 〇逓信省告示第千九百九十七號
 逓信大臣 男爵後藤新平

〇逓信省告示第千九百九十七號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 明治四十一年十一月二十五日
 逓信大臣 男爵後藤新平

英 貨	一 パウンド	九七九・五九二	一圓ニ付ニ「シリング」〇・〇「ペン
	一 シルリング	四八・九八〇	ニ「五〇〇
佛 貨	一 フランク	四〇・八二	一圓ニ付ニ「フランク」五十五「サ
	一 デナール	三九〇・九〇	ンチム」八二〇
米 貨	一 セント	二〇・〇〇	一圓ニ付「即チ
	一 マルク	二〇・〇〇	四十九「セント」五〇〇
獨 貨	一 フロリン	四八・〇七〇	一圓ニ付ニ「マルク」〇・八「フエン
	一 コロナ	八・五八〇	ニ「フロリン」二二・二「セ
澳地利 貨幣	一 クローネ	二五・三九〇	一圓ニ付「クローネ」四十一
	一 コロナ	二五・三九〇	「フィルレル」六〇・四

明治四十一年十一月 告示 逓信省第千九百九十七號 二四二三

瑞那威貨幣	瑞那威一クロイナ	五円三〇〇	一圓二付「クロイナ」八十四「オ
香港洋銀	一ダラー	八五〇四二	一圓二付「ダラー」十七「セント」
	一セント	八五〇	一圓二付「セント」
本國銀	一ダラー	八四二〇八	一圓二付「ダラー」十八「セント」
	一セント	八四二	一圓二付「セント」

(備考) 羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。*香港爲替中劉公島及寧波ニ振宛ツルモノニハ墨銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○逓信省告示第千九百九十八號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十五日
名 稱 埴生郵便局
位 置 京都府船井郡西本棧村
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千九百九十九號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十五日
名 稱 追分郵便局
位 置 秋田縣南秋田郡金足村
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十五日
名 稱 尾小屋郵便局
位 置 石川縣能美郡西尾村
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百一號
明治三十三年八月逓信省告示第百二十四號電話呼出地域中左ノ逓追加ス

明治四十一年十一月二十五日
「加賀國能美郡安宅町」ノ項ノ次ニ
一加賀國能美郡西尾村大字尾小屋
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二號
明治三十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ逓追加ス
明治四十一年十一月二十五日
加入區域外
通話區域
電話呼出料
逓信大臣 男爵後藤新平

金澤氷見間ノ次ニ	金澤尾小屋間	金二十錢	金十五錢
小松安宅間ノ次ニ	小松尾小屋間	金十錢	金十錢
美川安宅間ノ次ニ	美川尾小屋間	金十五錢	金十錢
新港氷見間ノ次ニ	安宅尾小屋間	金十五錢	金十錢

○逓信省告示第千二百三號
本日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス
明治四十一年十一月二十五日
名 稱 安田電信取扱所
位 置 新潟縣刈羽郡田尻村
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百四號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十六日
名 稱 大谷郵便局 位 置 德島縣板野郡堀江村
名 稱 沼江郵便局 位 置 德島縣勝浦郡生比安村
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百五號
明治四十一年十月逓信省令第四十七號郵便振替貯金規則第四十一條ニ依リ貯金ノ當座勘定口振替ヲ

請求シ得ル銀行ヲ指定スルコト左ノ如シ
明治四十一年十一月二十六日
一、日本銀行
逓信大臣 男爵後藤新平

二、日本銀行大阪支店

○逓信省告示第千二百六號
來十二月一日以降郵便振替貯金事務ニ關シ郵便爲替貯金管理所ニ宛テ差出ス郵便物ニハ其ノ宛名

ヲ東京丸之内局區内東京振替貯金課ト記載シ大阪郵便爲替貯金管理支所ニ宛テ差出スモノハ大阪
阪局區内大阪振替貯金課ト記載スヘシ
郵便爲替貯金管理所又ハ大阪郵便爲替貯金管理支所ヨリ郵便振替貯金事務ニ關シ發スル書類ニハ
其ノ所名ヲ「東京振替貯金課」又ハ「大阪振替貯金課」ト略記スルコトアルヘシ

明治四十一年十一月二十六日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百七號
來十二月一日以降大阪郵便爲替貯金管理支所ニ郵便振替貯金事務取扱開始ニ付従前郵便爲替貯金
管理所ニ口座ヲ有スル加入者ノ口座番號ニハ「東京」ノ文字ヲ冠シ大阪郵便爲替貯金管理支所ニ口

座ヲ開設スルモノニハ「大阪」ノ文字ヲ冠シ兩者ヲ區別ス從來發行シタル拂込書及拂出書ノ類ニシ
テ既ニ口座番號ヲ印刷シタルモノハ當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

明治四十一年十一月二十六日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百八號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十七日
名 稱 高屋郵便局 位 置 香川縣綾歌郡松山村
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百九號
來十二月一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

明治四十一年十一月二十七日
名 稱 東平電信取扱所 位 置 愛媛縣新居郡角野村住友別荘(東平)子
子續業所運輸課東平出張所(東平)

來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十一年十一月二十七日
名 稱 岡部郵便局 位 置 靜岡縣志太郡岡部町
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百十一號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十七日
名 稱 嘉高郵便局 位 置 山口縣美祿郡共和村
名 稱 日原郵便局 位 置 島根縣足尾郡日原村
逓信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百三十二號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十七日

名 稱 上野郵便局

位 置 三重縣河藝郡上野村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百三十三號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十七日

名 稱 日野郵便局

位 置 京都府與謝郡日野村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百三十四號

明治三十七年六月遞信省告示第千二百三十六號萬國電信條約附屬細目規則目第二十七條第四節中「西班牙」ノ項中「一」ペセタ「二」サンチーム「三」レ「四」ペセタ「五」サンチームト改ム

明治四十一年十一月二十七日

名 稱 柳津郵便局

位 置 宮城縣本吉郡柳津町

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百三十五號

明治四十年八月遞信省告示第四百九十七號米澤郵便局電話特別加入區域中米澤市山上通町、山上裏町ヲ普通加入區域ニ編入シ來十二月一日ヨリ施行ス

明治四十一年十一月二十七日

名 稱 西大寺郵便局

位 置 岡山縣上道郡西大寺町

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百三十六號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ

明治四十一年十一月二十七日

名 稱 西大寺郵便局

位 置 岡山縣上道郡西大寺町

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百三十七號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十七日

名 稱 三田郵便局

位 置 兵庫縣有馬郡三田町

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百三十八號

明治三十年十二月十二日遞信省告示第千二百五十七號中京都局電話加入區域ニ左ノ通追加シ來十二月一日ヨリ施行ス

明治四十一年十一月二十八日

名 稱 宮城縣本吉郡柳津町

位 置 宮城縣本吉郡柳津町

遞信大臣 男爵後藤新平

一特別加入區域中「花園村」ノ下ニ西院村大字西院字西院同新建「上鳥羽村」ノ下ニ紀伊郡吉祥院村大字吉祥院字吉祥院大字西中字東町

○遞信省告示第千二百三十九號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ大阪新町橋郵便局ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月二十八日

名 稱 長野電信取扱所

位 置 大阪府南河内郡長野村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百二十號

本月三十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十一年十一月二十八日

名 稱 長野電信取扱所

位 置 大阪府南河内郡長野村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百二十號
本月三十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十一年十一月二十八日

名 稱 長野電信取扱所

位 置 大阪府南河内郡長野村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百二十號
本月三十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十一年十一月二十八日

名 稱 長野電信取扱所

位 置 大阪府南河内郡長野村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第千二百二十號
本月三十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十一年十一月二十八日

名 稱 長野電信取扱所

位 置 大阪府南河内郡長野村

遞信大臣 男爵後藤新平

明治四十一年十一月 告示 逓信省第千二百二十一號 第千二百二十二號 第千二百二十三號 第千二百二十四號 第千二百二十五號 二四二〇

○逓信省告示第千二百二十一號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十八日
名 稱 逓信大臣 男爵後藤新平
位 區 別宮郵便局 石川縣能美郡別宮村
織田郵便局 福井縣丹生郡織田村

○逓信省告示第千二百二十二號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十八日
名 稱 逓信大臣 男爵後藤新平
位 區 坂本縣下都賀郡藤岡町

○逓信省告示第千二百二十三號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ函館辨天郵便局ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月二十八日
名 稱 逓信大臣 男爵後藤新平
位 區 函館辨天郵便局 北海道的函館區辨天町
東川郵便局 北海道的石狩國上川郡東川村
古武井郵便局 北海道的渡島國龜田郡尻岸内村
○逓信省告示第千二百二十四號
香川縣讚岐國鹽飽瀬戸廣島ノ南西瓦洲浮標流失ノ處(本年十一月十一日逓信省告示第千八百八十五號參照)從前ノ通礙置セリ

○逓信省告示第千二百二十五號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス
明治四十一年十一月三十日
逓信大臣 男爵後藤新平
逓信大臣 男爵後藤新平

現名 稱 前橋桑町郵便局 現在位置 前橋市桑町 移轉位置 前橋市横山町

○逓信省告示第千二百二十六號
來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月三十日
名 稱 佛生山郵便局 位 區 香川縣香川郡佛生山町
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百二十七號
明治三十三年八月逓信省告示第百二十四號電話呼出地域中「讚岐國仲多度郡善通寺町」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年十一月三十日
一讚岐國香川郡佛生山町(大字百田字龍池、同新田、同天) 逓信大臣 男爵後藤新平
○逓信省告示第千二百二十八號
明治二十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月三十日
加入區域外 逓信大臣 男爵後藤新平
通話區域 電話料、電話呼出料

高松善通寺間ノ次ニ
高松佛生山間 金 五 錢 金 五 錢
丸龜善通寺間ノ次ニ
丸龜佛生山間 金 十 錢 金 十 錢

坂出善通寺間ノ次ニ
坂出佛生山間 金 十 錢 金 十 錢

明治四十一年十一月 告示 逓信省第千二百二十六號 第千二百二十七號 第千二百二十八號 二四二一

「多度津善通寺間」ノ次ニ

「長多度津尾道間」ノ次ニ

○逓信省告示第千二百二十九號

來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及通話事務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年十一月二十日

名 稱 若松郵便局

位 置 若松市大字大町一ノ町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百三十號

明治二十九年六月逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通話加ス

明治四十一年十一月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外
通話區域

一 通話ノ
電話料

一回ノ電
話呼出料

「長東京石卷間」ノ次ニ

「長宇都宮山形間」ノ次ニ

「仙臺川俣間」ノ次ニ

「福島川俣間」ノ次ニ

長東京若松(代)間

宇都宮若松(代)間

仙臺若松(代)間

福島若松(代)間

金七十五錢

金五十錢

金五十錢

金二十五錢

金二十錢

金二十錢

金二十錢

金十五錢

「米澤飯坂間」ノ次ニ

「山形天童間」ノ次ニ

○逓信省告示第千二百三十一號

來十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年十一月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 澁川郵便局

位 置 北海道石狩國空知郡澁川村

○逓信省告示第千二百三十二號

名 稱 堅田郵便局

位 置 河邊郵便局

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第千二百三十三號

明治三十三年八月逓信省告示第百三十四號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

「近江國蒲生郡八幡町」ノ項ノ次ニ
「近江國滋賀郡堅田町大字本堅田(字上ノ岡)同間ヲ除ク」同今堅田
「丹後國竹野郡溝谷村大字溝谷」ノ項ノ次ニ
「丹後國中郡河邊村字河邊」

○逓信省告示第千二百三十四號
明治三十九年六月 逓信省告示第千二百六十四號 加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年十一月三十日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一 電話料	一回ノ電 話呼出料
京都長池間ノ次ニ	金十元	金十元
大津八幡(近江)間ノ次ニ	金十元	金十元
桂田邊(山城)間ノ次ニ	金十五元	金十元
伏見長池間ノ次ニ	金十五元	金十元
草津八幡(近江)間ノ次ニ	金十五元	金十元
坂本八幡(近江)間ノ次ニ	金十元	金十元
田邊(山城)大阪間ノ次ニ	金二十元	金十五元
長池大阪間ノ次ニ	金二十五元	金十五元

○逓信省告示第千二百三十五號
來十二月一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ岸和田電信取扱所ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年十一月三十日

逓信大臣 男爵後藤新平

箱作 電信取扱所 岸和田電信取扱所	大阪府泉南郡下莊村箱作停車場(南海線) (岸和田局直) 大阪府泉南郡岸和田村岸和田停車場(同) (和歌山局直)	位	逓信大臣
加入區域外 通話區域	一 電話料	一回ノ電 話呼出料	
長横濱久居間ノ次ニ	金九十元	金二十元	
濱松桑名間ノ次ニ	金二十五元	金十五元	
豐橋久居間ノ次ニ	金二十五元	金十五元	
岡崎大野間ノ次ニ	金二十五元	金十五元	

明治四十一年十一月 告示 逓信省告示第二百三十七號 第千二百三十八號 統監府第七十四號

二四二六

龜崎大野間ノ次ニ

龜崎山田間 金四十錢
龜崎多治見間 金二十五錢
金二十五錢 金十五錢

武豐大野間ノ次ニ

武豐四日市間 金二十五錢
金十五錢

○逓信省告示第千二百三十七號

明治三十年十月十二日 逓信省告示第三百五十七號中水戸郵便局電話加入區域ニ左ノ通過加シ來十二月十六日ヨリ施行ス

明治四十一年十一月三十日

逓信大臣 男爵後藤新平

一普通加入區域 茨城縣東茨城郡吉田村大字吉田字横宿坪ノ下ニ渡里村大字渡里字野竹、同ザル山

一特別加入區域

茨城縣東茨城郡藤岡村大字千波字千葉山ノ下ニ渡里村大字渡里字小祝同立原

○逓信省告示第千二百三十八號

月塞郵便局電話通話區域及電話料電話呼出料ハ札幌郵便局ト同一トシ來十二月一日ヨリ施行ス
明治四十一年十一月三十日 逓信大臣 男爵後藤新平

○統監府告示第七十四號(官報十一月四日)

明治四十一年十月三十一日限り左記郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便取扱所及郵便所之ヲ承繼ス

統監代理 子爵會禰荒助

明治四十一年十月二十八日

所 名 位 全羅南道和順郡和順邑 承繼所名 統監府取扱所

統監代理 子爵會禰荒助

榮安郵便所 玉果郵便所

全羅南道榮安郡榮安邑 全羅南道玉果郡玉果邑

順天郵便取扱所 昌平郵便所

○統監府告示第七十五號(官報十一月四日) 韓國政府ハ隆熙二年十月二十七日法律第二十六號ヲ以テ非訟事件手續規則ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十一年十月二十九日

統監代理 子爵會禰荒助

非訟事件手續規則

- 第一條 裁判所ノ管轄ニ屬スル非訟事件ニ付テハ本法其ノ他ノ法令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外民刑訴訟規則中民事ノ訴訟手續ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第二條 申立及陳述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 申立ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ
 - 一 申立人ノ氏名、住所
 - 二 代理人ニ依リ申立ヲ爲ストキハ其ノ氏名、住所
 - 三 申立ノ趣旨及其ノ原因タル事實
 - 四 年月日
 - 五 裁判所名

證據書類アルトキハ其ノ原本又ハ謄本ヲ添附スヘシ

第四條 裁判所ハ職權ヲ以テ事實ノ探知及必要ト認ムル證據調ヲ爲スヘシ

第五條 審問ハ之ヲ公行セス但シ裁判所ハ相當ト認ムル者ニ傍聽ヲ許スコトヲ得

明治四十一年十一月 告示 統監府第七十五號

二四二七

第六條 檢事ハ事件ニ付意見ヲ述ヘ審問ヲ爲ス場合ニハ之ニ立會フコトヲ得
事件及審問期日ハ檢事ニ之ヲ通知スヘシ

第七條 裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

裁判ノ原本ニハ判事署名捺印スヘシ但シ申立書又ハ調書ニ裁判ヲ記載シ判事之ニ署名捺印
シテ原本ニ代フルコトヲ得

第八條 裁判ハ之ヲ受クル者ニ告知スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

裁判ノ告知ハ裁判所カ相當ト認ムル方法ニ依リ之ヲ爲ス

告知ノ方法場所及年月日ハ之ヲ裁判ノ原本ニ記入スヘシ

第九條 裁判ニ因リ權利ヲ害セラレタル者ハ其ノ裁判ニ對シ抗告ヲ爲スコトヲ得

申立ニ依リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ申立人ニ限リ

抗告ヲ爲スコトヲ得

第十條 抗告ノ期間ハ裁判ノ告知ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十一條 抗告裁判所ノ裁判ニ對シテハ法令ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限

リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第十二條 手續ノ費用ハ法令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除外事件ノ申立人ノ負擔トス但シ檢事

カ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第十三條 裁判所ハ特別ノ事情アルトキハ本法ノ規定ニ依リテ費用ヲ負擔スヘキ者ニアラサル

關係人ニ費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得

第十四條 裁判所ハ手續ノ費用ニ付裁判ヲ爲スコトヲ必要ト認ムルトキハ費用ノ債權者債務

者及辨償スヘキ金額ヲ確定シテ之ヲ爲スヘシ

第十五條 費用ノ裁判ニ對シテハ其ノ負擔ヲ命セラレタル者ニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第十六條 費用ノ債權者ハ費用ノ裁判ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得

第十七條 職權ヲ以テ爲ス探知證據調呼出告知其ノ他必要ナル處分ノ費用ハ國庫ニ於テ之ヲ

立替フヘシ

第十八條 本法ノ申立トハ申立申請及申述ヲ謂フ

第十九條 法令ニ依リ過料ニ處スヘキ事件ニ付テハ以下三條ニ掲クル特別ノ規定ニ依ル

第二十條 過料事件ハ過料ニ處セラルル者ノ住所ヲ管轄スル地方裁判所ノ管轄トス

第二十一條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前ニ當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及檢事ハ過料ノ裁判ニ對シ抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル裁判アリタル場合ニハ其ノ裁判ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其ノ他ノ

場合ニハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ對シ相當ノ裁判ヲ爲ストキハ抗告手續ノ費用及前審ニ於テ當事

者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二十二條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此ノ命令ハ執行力アル確定判決ト同一

ノ效力ヲ有ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第七十六號(官報十一月四日)

明治四十一年十一月一日ヨリ左記郵便取扱所ニ電信事務ヲ開始シ下記ノ通改稱ス

明治四十一年十一月二十九日

統監代理

副統監 子爵會禰荒助

明治四十一年十一月二十九日

明治四十一年十一月 告示 統監府第七十六號

所名 金泉郵便取扱所 位置 慶尚北道金山市新基洞 改稱 金泉郵便電信取扱所
○統監府告示第七十七號 (官報十一月四日)
明治四十一年十一月一日ヨリ左記電信取扱所電報直配達區域ヲ左ノ通改ム

明治四十一年十月二十九日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

名 稱 位置 電報直配達區域 備考
金泉電信取扱所 慶尚北道 慶尚北道 慶尚北道 慶尚北道
金泉鐵道停車場 慶尚北道 慶尚北道 慶尚北道 慶尚北道
慶尚北道 慶尚北道 慶尚北道 慶尚北道
電報ノ外配達セズ (現行配達區域十八町以内)

○統監府告示第七十八號 (官報十一月十日)
韓國政府ハ隆熙二年十月三十一日法律第二十七號ヲ以テ隆熙元年法律第十號裁判所設置法中改正ノ件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年十一月五日
裁判所設置法中改正ノ件

- 一 京城地方裁判所管内驪州區裁判所管轄地名中「砥平」「楊根」ヲ削リ「楊平」ヲ加フ
- 一 平壤地方裁判所管内區裁判所ノ名稱及位置中「新義州」「義州府」ヲ「義州」ニ改ム
- 一 同地方裁判所管内龍川區裁判所管轄地名中「龍川」ヲ「龍川府」ニ改ム
- 一 晉州地方裁判所管内馬山區裁判所管轄地名中「漆原」「鎮海」ヲ削除ス
- 一 同地方裁判所管内金海區裁判所管轄地名中「熊川」ヲ削除ス
- 一 光州地方裁判所管内光州區裁判所管轄地名中「和順」ヲ削ル
- 一 同地方裁判所管内順天區裁判所管轄地名中「興陽」ヲ加フ

- 一 同地方裁判所管内中「樂安區裁判所」ヲ削ル
 - 一 同地方裁判所管内區裁判所ノ名稱及位置中「靈巖」ヲ「長興」ニ同管轄地名中「靈巖長興」ヲ「長興靈巖」ニ改ム
 - 一 同地方裁判所管内谷城區裁判所管轄地名中「玉果」ヲ削ル
- 附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第七十九號 (官報十一月十日)
韓國政府ハ隆熙二年十一月二日法部令第十六號ヲ以テ隆熙二年法部令第十三號中改正ノ件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十一年十一月五日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

未開廳區裁判所名稱改正ノ件

隆熙二年法部令第十三號別表中「樂安區裁判所」ヲ削除シ「新義州區裁判所」ヲ「義州區裁判所」ニ「靈巖區裁判所」ヲ「長興區裁判所」ニ改ム
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
○統監府告示第八十號 (官報十一月十日)
韓國政府ハ隆熙二年十一月二日法部令第十七號ヲ以テ隆熙二年法部令第十三號中改正ノ件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十一年十一月五日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

未開應區裁判所事務處理ノ件
 隆熙二年法部令第十三號未開應區裁判所事務處理ノ件別表ヲ左ノ通改正ス但シ新ニ開應スヘキ
 區裁判所カ開應ニ至ルマテハ從來ノ別表其ノ效力ヲ有ス
 從來ノ別表ニ從ヒ甲區裁判所ニ於テ既ニ受理シタル事件ハ本令ニ依リ乙區裁判所ニ屬スヘキモ
 ノニシテ其ノ事件カ完結スルニ至ルマテハ甲區裁判所ニ於テ之ヲ處理ス
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

開應區裁判所	未開應區裁判所	太田區裁判所	連山區裁判所
京城區裁判所	坡州區裁判所 抱川區 廣州同	洪州區裁判所	瑞山區裁判所 沔川同 青陽同
開城區裁判所	金浦區裁判所 江華同	忠州區裁判所	堤川區裁判所 陰城同
仁川區裁判所	安城區裁判所 利川同	清州區裁判所	報恩區裁判所 永同同
水原區裁判所	驪州同	咸興區裁判所	永興區裁判所
春川區裁判所	伊川區裁判所 金城同	元山區裁判所	
原州區裁判所	蔚珍區裁判所 江陵同 平昌同	北青區裁判所	
公州區裁判所	天安區裁判所 牙山同 通川同	鏡城區裁判所	
		城津區裁判所	嘉山鎮區裁判所
		襄陽區裁判所	

平壤區裁判所	咸川區裁判所 順川同 江西同	晉州區裁判所	奇松同 義城同
鐵南浦區裁判所	江界區裁判所	釜山區裁判所	河東區裁判所
寧邊區裁判所	定州區裁判所 定州同	蔚山區裁判所	金海區裁判所
義州區裁判所	白川區裁判所 德源同	馬山區裁判所	密陽區裁判所
龍川區裁判所	平山區裁判所 新溪同	鎮南區裁判所	狹川區裁判所
海州區裁判所	星州區裁判所 金山同	光州區裁判所	順天區裁判所 谷城同 潭陽同
瑞興區裁判所	慶州區裁判所 永川區裁判所	居昌區裁判所	順天區裁判所
大邱區裁判所	善山區裁判所 開慶同	濟州區裁判所	嶺光區裁判所
慶州區裁判所	榮川區裁判所 盈德同	木浦區裁判所	靈光區裁判所
尙州區裁判所		羅州區裁判所	長興區裁判所
安東區裁判所		全州區裁判所	長興區裁判所
		群山區裁判所	嶺安同 高山区裁判所 南原同 金堤區裁判所 古阜同 奧德同

○統監府告示第百八十一號(宣統十一年十一月十二日)
 韓國政府ハ隆熙二年十一月二日法部令第十八號ヲ以テ地方裁判所支部設置ノ件ヲ公布セリ其ノ譯
 文左ノ如シ

明治四十一年十一月六日

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

地方裁判所支部設置ノ件
 裁判所構成法第二十條ニ依リ仁川、春川、清州、元山、鏡城、義州、釜山及全州區裁判所ニ所管地方裁判所ノ支部ヲ設置ス
 支部ハ其ノ支部ヲ設置シタル區裁判所ノ裁判ニ對スル控訴及抗告ヲ除ク外別表ニ定ムル所管區裁判所管轄區域内ノ事件ニ付地方裁判所ト同一ナル裁判權ヲ有ス
 支部開廳ノ期日ハ更ニ之ヲ告示ス
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 (別表)

京城地方裁判所仁川支部	仁川同 江華同 水原同 安城同	所管區裁判所	京城地方裁判所	鏡城區裁判所 慶興同
京城地方裁判所春川支部	春川同 伊川同 江陵同 通川同 平昌同 原州同 金城同	所管區裁判所	京城地方裁判所	寧邊區裁判所 龍川同 定州同 宣川同 密陽同 蔚山同 金海同 鎮南同
京城地方裁判所清州支部	清州同 忠州同 堤川同 陰城同 清州同 報恩同 元山同	所管區裁判所	京城地方裁判所	全州區裁判所 高陽同 群山同 鎮安同 錦山同 南原同 古阜同 興德同
公州地方裁判所清州支部	清州同 忠州同 堤川同 陰城同 清州同 報恩同 元山同	所管區裁判所	公州地方裁判所	光州地方裁判所
咸興地方裁判所元山支部	元山同 永興同	所管區裁判所	咸興地方裁判所	光州地方裁判所

○統監府告示第百八十二號(官報十一月十一日)
 韓國政府ハ隆熙二年十月十日法律第二十四號ヲ以テ刑事裁判費用規則ヲ同年同月三十一日勅令第七十五號ヲ以テ民事訴訟手数料規則及法律第二十八號ヲ以テ民事訴訟費用規則ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十一年十一月六日
 刑事裁判費用規則

統監代理 子爵曾禰荒助
 副統監

- 第一條 公訴事件ニ付裁判所、受命判事、受託判事又ハ檢事カ呼出シタル證人、鑑定人及通譯人ニ給與スヘキ日當、旅費及止宿料ハ左ノ範圍内ニ於テ裁判所、受命判事、受託判事又ハ檢事之ヲ定ム
- 一 證人ノ日當ハ出頭每一回ニ付金二十錢乃至金五十錢トス但シ止宿料ヲ給與スル場合ニハ日當ヲ給與セス
 - 二 鑑定人及通譯人ノ日當ハ出頭每一回ニ付金三十錢乃至金五圓トス
 - 三 證人、鑑定人及通譯人ノ旅費ハ陸海路每十里ニ付金五錢乃至金二十錢トス但シ通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス
 - 四 證人、鑑定人及通譯人ノ止宿料ハ每一日ニ付金三十錢乃至金二圓トス但シ往復里數六十里以上ニシテ現ニ止宿シタルニ非サレハ之ヲ給與セス
- 第二條 鑑定又ハ通譯ニ因リ數多ノ時間ヲ要シ又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ裁判所、受命判事、受託判事又ハ檢事ノ定ムル所ニ依リ日當ノ外ニ相當ノ金額ヲ給與スルコトヲ得
- 第三條 前二條ニ記載シタル給與金ハ證言、鑑定又ハ通譯ヲ畢リタルトキヨリ七日内ニ本人ノ請求ナキトキハ之ヲ給與セス

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

民事訴訟手数料規則

- 第一條 民事訴訟ニ關シテハ此ノ規則ニ從ヒ訴訟書類ノ正本ニ收入印紙ヲ貼用シ手数料ヲ納付スヘシ但シ訴訟書類ノ正本ナキトキハ裁判所書記ノ作成シタル調書ニ印紙ヲ貼用スヘシ
- 第二條 財産權上ノ請求ニ係ル第一審ノ訴狀ニハ訴訟目的ノ價額ニ應シ左ノ區別ニ從ヒ印紙ヲ貼用スヘシ
 - 訴訟目的ノ價額金五圓迄 二十錢
 - 同十圓迄 三十錢
 - 同二十圓迄 六十錢
 - 同五十圓迄 一圓五十錢
 - 同百圓迄 三圓
 - 同二百五十圓迄 六圓五十錢
 - 同五百圓迄 十圓
 - 同千圓迄 十五圓
 - 同二千五百圓迄 二十圓
 - 同五千圓迄 二十五圓
 - 同五千圓以上ハ千圓ニ達スル迄毎ニ二圓ヲ加フ
- 第三條 訴訟目的ノ價額ヲ算定スルニ必要ナル場合ニハ裁判所ノ意見ヲ以テ之ヲ定ム裁判所ハ申立ニ依リ證據調査ヲ命シ又ハ職權ヲ以テ檢證若ハ鑑定ヲ命スルコトヲ得

第四條 財産權上ノ請求ニ非サル訴訟ニ付テハ其ノ訴訟目的ノ價格ヲ百圓ト看做シ印紙ヲ貼用スヘシ

- 其ノ多額ナル一方ノ訴訟目的ノ價額ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ
- 第五條 控訴上告又ハ再審ノ申立書ニハ第二條ノ率ニ從ヒ更ニ印紙ヲ貼用スヘシ
- 第六條 左ニ掲クル書類ニハ五十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ
 - 第一 抗告ノ申立
 - 第二 故障ノ申立
 - 第三 證據調査ノ申請
 - 第四 假押收及假處分ノ申立
 - 第五 判決ノ送達ヲ求ムル申請
 - 第六 執行交付與ヲ求ムル申請
 - 第七條 原狀回復ノ申立ニハ進行スル訴訟行為ニ關シ貼用スヘキ印紙ヲ貼用スヘシ
 - 第八條 答辯書其ノ他前數條ニ掲ケサル申立及申請ニハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ
 - 第九條 此ノ規則ニ從ヒ印紙ヲ貼用セサル民事訴訟ノ書類ハ無効トス但シ印紙ヲ貼用セス又ハ貼用スルモ不足アルトキハ裁判所ハ相當ノ印紙ヲ貼用セシメ之ヲ有效ナラシムルコトヲ得
 - 第十條 第六條乃至第九條ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス
- 附則
 - 第十一條 本令ハ隆熙二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
 - 第十二條 光武十一年勅令第七十號民事訴訟手数料規則ハ之ヲ廢止ス

民事訴訟費用規則

- 第一條 訴訟費用ハ敗訴者之ヲ負擔ス但シ勝訴者ニ過失アルトキハ裁判所ハ之ヲシテ訴訟費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得
- 第二條 一部敗訴ノ場合ニ各當事者カ負擔スヘキ訴訟費用ノ比例ハ裁判所之ヲ定ム但シ事情ニ因リ當事者ノ一方ニ訴訟費用ノ全部ヲ負擔セシムルコトヲ得
- 第三條 共同訴訟人ハ相手方ニ對シ平等ニ訴訟費用ヲ負擔ス但シ裁判所ハ之ニ異ナル方法ヲ以テ訴訟費用ヲ負擔セシムルコトヲ得
- 第四條 前三條ノ規定ハ參加ニ因リ生シタル訴訟費用ニ付參加人ト其ノ相手方タル當事者ノ間ニ之ヲ準用ス
- 第五條 訴訟費用ノ辦償ヲ受クヘキ權利アル當事者ハ第一審裁判所ニ費用額確定ノ申請ヲ行フコトヲ得
- 第六條 前條ノ場合ニハ裁判所ハ審問ヲ經シテ裁判ヲ行フコトヲ得此ノ裁判ハ強制執行ニ關シテハ之ヲ確定判決ト看做ス
- 前項ノ決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得
- 決定及抗告ニハ民刑訴訟規則中民事ノ訴訟手續ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第七條 訴訟費用額ハ左ノ各號ノ規定ニ從ヒ之ヲ算定ス
 - 一 訴狀其ノ他總テ書類ノ代書料ハ十行半枚(每行二十字)ニ付金五錢トス半枚ニ滿タサルモ亦同シ
 - 二 圖面ハ一枚ニ付金十五錢トス但シ測量ヲ要スルトキハ裁判所ノ意見ヲ以テ其ノ費用額ヲ定ム
 - 三 翻譯料ハ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル

- 四 民事訴訟手續規則ニ從ヒ貼用スル印紙ノ費用額ハ其ノ代價ニ依ル
 - 五 郵便、電信及運送料ハ其ノ實費ニ依ル
 - 六 民刑訴訟規則第六十七條ノ規定ニ從ヒ代表者ヲ指定シタルトキハ其ノ報酬ハ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル
 - 七 當事者及證人ノ日常金ハ出頭一回ニ付金三十錢以上五十錢以下ノ範圍内ニ於テ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル
 - 八 鑑定人及通譯人ノ日常金ハ出頭一回ニ付金三十錢以上五圓以下ノ範圍内ニ於テ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル但シ鑑定又ハ通譯ニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ日常金ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得
 - 九 止宿料ハ滿三十里以外ノ地ヨリ來リ止宿スルトキハ一日ニ付金五十錢以上二圓以下ノ範圍内ニ於テ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル但シ止宿料ヲ給スル場合ニハ日常金ヲ給セス
 - 十 旅費ハ海陸每十里ニ付金十錢トス但シ通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ニ依リ旅費ヲ算定ス外國ニ在ル當事者ノ旅費ハ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル所ニ依ル
 - 十一 判事及書記ノ旅費、日常金及止宿料ハ官吏ノ出張旅費支給ニ關スル規定ニ從フ
- 第八條 本法ニ定メサル必要ノ費用ハ其ノ實費ニ依ル
- 第九條 訴訟費用ノ豫納期間ハ裁判所之ヲ定ム
- 當事者カ前項ノ期間内ニ費用ヲ豫納セサルトキハ裁判所ハ其ノ訴訟手續ヲ行ハサルコトヲ得

第十條 強制執行及非訟事件ニ關スル費用ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外前數條ノ規定ヲ準用シ之ヲ算定ス

附則

第十一條 本法ハ隆熙二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 隆熙元年勅令第八號民事訴訟費用規則ハ之ヲ廢止ス

○統監府告示第八十三號(官報十一月十四日)

明治四十一年十一月十一日統監府鐵道管理局ヲ龍山ニ移ス

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年十一月八日

○統監府告示第八十四號(官報十一月十七日)

明治四十一年十一月十六日ヨリ左記郵便局所ニ於テ謄文電報ヲモ取扱ハシム

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年十一月十一日

局所名 忠清北道清州郡清州邑

位 置

局所名 嶺山郵便所

位 置

忠清南道燕岐郡北一面島致院

嶺山郵便所

忠清南道恩津郡花枝山面嶺山

鳥致院郵便所

嶺海郵便所

忠清南道昌原府東面東村里

○統監府告示第八十五號(官報十一月十七日)

明治四十一年十一月二十一日ヨリ左記郵便電信取扱所ニ於テ謄文電報ヲモ取扱ハシム

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年十一月十二日

所名 吉州郵便電信取扱所

位 置

咸鏡北道吉州郡吉州邑

○統監府告示第八十六號(官報十一月十八日)
日韓兩國臣民ノ漁業ニ關シ統監府及韓國政府ハ本年十月三十一日付ヲ以テ左ノ協定ヲ爲シ韓國漁業法施行ノ日ヨリ之ヲ實施ス

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年十一月十三日

一 日本國臣民ハ韓國ノ沿海、江灣、河川及湖池ニ於テ韓國臣民ハ日本國ノ沿海、江灣、河川及湖池ニ於テ漁業ヲ營ムコトヲ得

二 兩國ノ一方ノ臣民ニシテ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ漁業ヲ營ム者ハ其ノ漁業ヲ營ム地ニ行ハルル漁業ニ關スル法規ヲ遵守スヘシ

三 韓國ニ於ケル漁業ニ關スル法規中司法裁判所ノ職權ニ屬スヘキ事項ハ日本國臣民ニ對シテハ當該日本官廳之ヲ執行ス

四 明治四十一年十一月十二日開國四百九十八年十月二十日調印日韓兩國通漁規則共ノ他兩國通漁ニ關スル協定ハ總テ之ヲ廢止ス

○統監府告示第八十七號(官報十一月十八日)

韓國政府ハ隆熙二年十一月十一日法律第二十九號ヲ以テ漁業法ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年十一月十三日

漁業法

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動植物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂ヒ漁業權ト稱スルハ第二條ニ依リ免許ヲ受ケ漁業ヲ爲スノ權利ヲ謂フ

第二條 左ノ種類ノ漁業ヲ爲サトスル者ハ農商工部大臣ノ免許ヲ受クヘシ

- 一 一定ノ水面ニ漁具ヲ建設又ハ敷設シ一定ノ漁期間定置シテ爲ス漁業(第一種免許漁業)
 - 二 一定ノ區域内ニ於テ捕貝採藻又ハ養殖ヲ爲ス漁業(第二種免許漁業)
 - 三 陸地又ハ巖礁等ニ地點ヲ一定シ漁網ヲ曳揚ケ又ハ曳寄スル場所トシ一定ノ漁期間繰返シ使用スル漁業(第三種免許漁業)
 - 四 一定ノ水面ヲ漁網ノ建設又ハ敷設ノ場所トシ一定ノ漁期間繰返シ使用スル漁業(第四種免許漁業)
- 前項ノ外一定ノ水面ニ資本及勞力ヲ費シ魚類ヲ集合セシムル漁法ニ依リ經營スル漁業(第五種免許漁業)ニ關シテハ漁業者ノ請願ニ依リ農商工部大臣ハ漁業免許ヲ與ヘ之ヲ保護スルコトヲ得
- 第三條** 漁業ノ免許期間ハ十箇年以内トス但シ農商工部大臣ハ漁業權者ノ申請ニ依リ期間ヲ更新スルコトヲ得
- 第六條** 依リ漁業權ノ停止ヲ命シタル期間ハ前項ノ期間ニ算入セス
- 第四條** 同一ノ漁場ニ於テハ同一漁期ニ於テ同一種類ノ漁業ヲ免許セス但シ第二條第一項第三號及第四號ノ漁業ハ此ノ限ニ在ラス
- 第五條** 漁業權ハ相續讓渡共有擔保及貸付ノ目的ト爲スコトヲ得但シ農商工部ノ登録ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス
- 第六條** 農商工部大臣ハ水産動植物ノ蕃殖其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ漁業權ヲ制限シ又ハ停止ヲ命シ又ハ之ニ條件ヲ附スルコトヲ得
- 第七條** 左ノ場合ニ於テハ農商工部大臣ハ漁業權ヲ取消スコトヲ得
- 一 正當ノ理由ナクシテ漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一箇年内ニ著手セス又ハ連續シテ二箇年以上休業シタルトキ

- 二 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違背シタルトキ
 - 三 前條ノ事由アルトキ
 - 四 漁業權ノ制限又ハ條件ニ違背シタルトキ
 - 五 法定又ハ指定ノ期間内ニ漁業稅又ハ罰金ヲ納入セザルトキ
- 漁業權ノ貸付ヲ受ケタル者ノ所爲ハ漁業權者ノ所爲ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス
- 第八條** 漁場ノ區域漁業ノ方法其ノ他漁業權ノ範圍ニ付漁業者間ニ爭論アルトキハ利害關係者ノ申請ニ依リ農商工部大臣之ジ裁決ス
- 第九條** 左ノ種類ノ漁業ハ農商工部大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 一 陸地又ハ巖礁等ニ漁網ヲ曳揚ケ又ハ曳寄スル漁業ニシテ第二條第一項第三號ノ漁業ニ屬セサルモノ
 - 二 風力汽力又ハ潮流ニ依リ囊網ヲ水中ニ引曳スル漁業
 - 三 人力ニ依リ又ハ機力ヲ應用シ漁網ヲ以テ魚類ヲ圍繞シ漁船ニ繰揚クル漁業
 - 四 潛水機械ヲ使用スル漁業
 - 五 第二條第二項ノ漁業ニシテ免許ヲ受ケサルモノ
- 第十條** 第二條第一項及前條ニ規定シタル漁業以外ノ漁業ヲ爲サムトスル者ハ郡守又ハ府尹ニ申告シテ鑑札ヲ受クヘシ但シ漁業ヲ爲サムトスル者カ日本人ナルトキハ日本理事官ニ申告シテ鑑札ヲ受クヘシ
- 第十一條** 農商工部大臣ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業ノ取締ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得
- 第十二條** 漁業權ニ依ラスシテ第二條第一項ニ規定シタル漁業ヲ爲シ又ハ第九條第十條ノ規定ニ違背シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處シ採捕物又ハ所有漁具ハ何人ノ所屬ヲ問ハス之ヲ沒

收ス既ニ採捕物ヲ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代價ヲ追徴ス
 漁業權ノ停止中又ハ免許若ハ許可ノ條件ニ違背シテ漁業ヲ爲シタル者ハ罰前項ニ同シ
 第十二條 使用人及漁夫其ノ他從事者ノ所爲ハ漁業者ノ所爲ト看做シ前條ノ罰則ハ之ヲ漁業者ニ適用ス

第十四條 本法施行ニ必要ナル細則ハ農商工部大臣之ヲ定ム

附則

第十五條 本法ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 如何ナル名義タルヲ問ハズ本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ從來ノ慣行ニ因リ第二條第一項ニ規定シタル漁業ヲ爲ス者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年内ニ第二條ノ規定ニ依リ免許ヲ請願スヘシ

本法施行前ニ漁業鑑札ノ下附ヲ受ケタル者ハ本法施行後ト雖其ノ鑑札ノ有効期間内ハ第九條又ハ第十條ニ規定シタル漁業ヲ爲スコトヲ得

前項ニ規定シタル者ニ非スシテ第九條又ハ第十條ニ規定シタル漁業ヲ爲ス者ハ本法施行ノ日ヨリ三箇月内ニ第九條又ハ第十條ノ規定ニ依リ漁業ノ許可ヲ請願又ハ申告スヘシ

第一項又ハ第三項ノ漁業者ハ請願許否ノ處分ヲ受クル迄又ハ申告ニ依リ漁業鑑札ノ下附ヲ受クル迄從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

○統監府告示第百八十八號(官報十一月十八日)

明治四十一年十二月一日以降當分ノ内左記郵便取扱所ヲシテ明治三十七年五月遞信省令第三十七號ニ依リ軍人軍屬ノ振出ス通常爲替ノ取扱ヲ爲サシム

明治四十一年十一月十三日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第百八十九號(官報十一月二十五日)
 新町名設定等ノ爲左記各局所ノ位置名稱下記ノ通改稱セリ

明治四十一年十一月十九日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

局 所 名	現 在	改 稱
群 山 郵 便 局	全羅北道群山京町	全羅北道群山金州通
馬 山 郵 便 局	慶尙南道昌原府馬山各國居留地	慶尙南道馬山本町四丁目
鎮 南 浦 郵 便 局	平安南道三和府鎮南浦各園居留地	平安南道鎮南浦明峽通
新 義 州 郵 便 局	平安北道新義州鴨綠江通六丁目	平安北道新義州本町六丁目
金 泉 郵 便 電 信 取 扱 所	慶尙北道金山郡金泉面新基洞	慶尙北道金泉本町
羅 南 郵 便 電 信 取 扱 所	咸鏡北道鏡城郡梧村社羅南洞	咸鏡北道羅南東二條通四丁目
榮 山 浦 郵 便 所	全羅南道羅州郡上谷面榮山浦	全羅南道羅州郡知良面榮山浦
統 營 郵 便 所	慶尙南道鎮南郡西面東忠	慶尙南道鎮南郡東面倉洞
舊 馬 山 浦 郵 便 所	慶尙南道昌原府馬山浦西城	慶尙南道昌原府内西面中城洞
加 德 島 郵 便 所	慶尙南道蔚川郡加德島外洋浦	慶尙南道昌原府加德面外洋浦

○統監府告示第百九十號(官報十一月二十五日)
 明治四十一年十二月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年十一月二十日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年十一月 告示 統監府第九十一號 第九十二號 臺灣總督府第九十二號 第九十三號 第九十四號 第九十五號 第九十六號 第九十七號 第九十八號 第九十九號 第一百號 第一百零一號 第一百零二號 第一百零三號 第一百零四號 第一百零五號 第一百零六號 第一百零七號 第一百零八號 第一百零九號 第一百一十號 第一百一十一號 第一百一十二號 第一百一十三號 第一百一十四號 第一百一十五號 第一百一十六號 第一百一十七號 第一百一十八號 第一百一十九號 第一百二十號 第一百二十一號 第一百二十二號 第一百二十三號 第一百二十四號 第一百二十五號 第一百二十六號 第一百二十七號 第一百二十八號 第一百二十九號 第一百三十號 第一百三十一號 第一百三十二號 第一百三十三號 第一百三十四號 第一百三十五號 第一百三十六號 第一百三十七號 第一百三十八號 第一百三十九號 第一百四十號 第一百四十一號 第一百四十二號 第一百四十三號 第一百四十四號 第一百四十五號 第一百四十六號 第一百四十七號 第一百四十八號 第一百四十九號 第一百五十號 第一百五十一號 第一百五十二號 第一百五十三號 第一百五十四號 第一百五十五號 第一百五十六號 第一百五十七號 第一百五十八號 第一百五十九號 第一百六十號 第一百六十一號 第一百六十二號 第一百六十三號 第一百六十四號 第一百六十五號 第一百六十六號 第一百六十七號 第一百六十八號 第一百六十九號 第一百七十號 第一百七十一號 第一百七十二號 第一百七十三號 第一百七十四號 第一百七十五號 第一百七十六號 第一百七十七號 第一百七十八號 第一百七十九號 第一百八十號 第一百八十一號 第一百八十二號 第一百八十三號 第一百八十四號 第一百八十五號 第一百八十六號 第一百八十七號 第一百八十八號 第一百八十九號 第一百九十號 第一百九十一號 第一百九十二號 第一百九十三號 第一百九十四號 第一百九十五號 第一百九十六號 第一百九十七號 第一百九十八號 第一百九十九號 第二百號

局名 慶州郵便局 位置 慶尙北道慶州郡慶州邑
○統監府告示第九十一號(官報十一月二十五日)
明治四十一年一月一日ヨリ左記郵便局ヲ設置ス

明治四十一年十一月二十日

局名 羅南郵便局

位置 咸鏡北道羅南本町二丁目

○統監府告示第九十二號(官報十一月二十五日)

明治四十一年十二月三十一日限リ左記郵便電信取扱所ヲ廢止ス同所取扱ノ事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

統監代理

副統監

子爵曾禰章助

統監代理

副統監

子爵曾禰章助

所名 羅南郵便電信取扱所

位置

咸鏡北道咸鏡城郡梧村社羅南洞

承繼局名 羅南郵便局

○臺灣總督府告示第二百二十六號(官報十一月十二日)

明治四十一年十月三十一日限左ノ郵便局所ヲ廢止ス但シ當該局所ノ取扱ヒタル事務中礁溪郵便出張所ニ係ルモノハ宜蘭郵便局頭圍郵便局ニ係ルモノハ頭圍郵便出張所ニ於テ之ヲ承繼ス

明治四十一年十月三十一日

礁溪郵便出張所 頭圍郵便局

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第二百二十七號(官報十一月十二日)

明治四十一年十一月一日ヨリ左ノ郵便出張所ヲ設置シ電信電話ノ業務ヲ兼掌セシム
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

本局 宜蘭郵便局

名稱

宜蘭郵便出張所

位置 宜蘭縣頭圍街

○臺灣總督府告示第二百二十八號(官報十一月十二日)

明治三十七年十一月一告示第四百四十五號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十一年十月三十一日

一基隆廳基隆堡九份庄ノ内

金瓜石庄

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第二百二十九號(官報十一月十二日)

臺灣總督府民政部殖産局附屬博物館觀覽料ハ普通觀覽券一枚ニ付金五錢トス

明治四十一年十一月三日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第三百三十號(官報十一月十七日)

明治三十九年六月府令第四十四號臺灣特設電話加入規則ニ依ルニ琴庄特設電話ノ加入申込ハ自今鳳山郵便局ニ於テ之ヲ受理ス

明治四十一年十一月六日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第三百三十一號(官報十一月二十一日)

左記臨時海港檢疫所ハ明治四十一年十一月十日限閉鎖ス

明治四十一年十一月十一日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

名稱

位置

名稱

位置

打狗 鳳山廳打狗

媽宮

澎湖廳媽宮

安平 臺南廳安平

○臺灣總督府告示第三百三十二號(官報十一月二十一日)

明治四十一年九月告示第百一號別冊臺灣櫻川石山經過外國電報料金表第一表Africa(亞非利加地方) Egypt(埃及)ノ項中但書ヲ左ノ通改正ス

明治四十一年十一月十一日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十一年十一月 告示 臺灣總督府第九十八號 第九十九號 第一百號 第一百零一號 第一百零二號 第一百零三號 第一百零四號 第一百零五號 第一百零六號 第一百零七號 第一百零八號 第一百零九號 第一百一十號 第一百一十一號 第一百一十二號 第一百一十三號 第一百一十四號 第一百一十五號 第一百一十六號 第一百一十七號 第一百一十八號 第一百一十九號 第一百二十號 第一百二十一號 第一百二十二號 第一百二十三號 第一百二十四號 第一百二十五號 第一百二十六號 第一百二十七號 第一百二十八號 第一百二十九號 第一百三十號 第一百三十一號 第一百三十二號 第一百三十三號 第一百三十四號 第一百三十五號 第一百三十六號 第一百三十七號 第一百三十八號 第一百三十九號 第一百四十號 第一百四十一號 第一百四十二號 第一百四十三號 第一百四十四號 第一百四十五號 第一百四十六號 第一百四十七號 第一百四十八號 第一百四十九號 第一百五十號 第一百五十一號 第一百五十二號 第一百五十三號 第一百五十四號 第一百五十五號 第一百五十六號 第一百五十七號 第一百五十八號 第一百五十九號 第一百六十號 第一百六十一號 第一百六十二號 第一百六十三號 第一百六十四號 第一百六十五號 第一百六十六號 第一百六十七號 第一百六十八號 第一百六十九號 第一百七十號 第一百七十一號 第一百七十二號 第一百七十三號 第一百七十四號 第一百七十五號 第一百七十六號 第一百七十七號 第一百七十八號 第一百七十九號 第一百八十號 第一百八十一號 第一百八十二號 第一百八十三號 第一百八十四號 第一百八十五號 第一百八十六號 第一百八十七號 第一百八十八號 第一百八十九號 第一百九十號 第一百九十一號 第一百九十二號 第一百九十三號 第一百九十四號 第一百九十五號 第一百九十六號 第一百九十七號 第一百九十八號 第一百九十九號 第二百號

臺灣總督府第九十八號 第九十九號 第一百號 第一百零一號 第一百零二號 第一百零三號 第一百零四號 第一百零五號 第一百零六號 第一百零七號 第一百零八號 第一百零九號 第一百一十號 第一百一十一號 第一百一十二號 第一百一十三號 第一百一十四號 第一百一十五號 第一百一十六號 第一百一十七號 第一百一十八號 第一百一十九號 第一百二十號 第一百二十一號 第一百二十二號 第一百二十三號 第一百二十四號 第一百二十五號 第一百二十六號 第一百二十七號 第一百二十八號 第一百二十九號 第一百三十號 第一百三十一號 第一百三十二號 第一百三十三號 第一百三十四號 第一百三十五號 第一百三十六號 第一百三十七號 第一百三十八號 第一百三十九號 第一百四十號 第一百四十一號 第一百四十二號 第一百四十三號 第一百四十四號 第一百四十五號 第一百四十六號 第一百四十七號 第一百四十八號 第一百四十九號 第一百五十號 第一百五十一號 第一百五十二號 第一百五十三號 第一百五十四號 第一百五十五號 第一百五十六號 第一百五十七號 第一百五十八號 第一百五十九號 第一百六十號 第一百六十一號 第一百六十二號 第一百六十三號 第一百六十四號 第一百六十五號 第一百六十六號 第一百六十七號 第一百六十八號 第一百六十九號 第一百七十號 第一百七十一號 第一百七十二號 第一百七十三號 第一百七十四號 第一百七十五號 第一百七十六號 第一百七十七號 第一百七十八號 第一百七十九號 第一百八十號 第一百八十一號 第一百八十二號 第一百八十三號 第一百八十四號 第一百八十五號 第一百八十六號 第一百八十七號 第一百八十八號 第一百八十九號 第一百九十號 第一百九十一號 第一百九十二號 第一百九十三號 第一百九十四號 第一百九十五號 第一百九十六號 第一百九十七號 第一百九十八號 第一百九十九號 第二百號

二四四七

但シ Lado (ラド) ニ宛ツル電報ハ Gondokoro (埃及第三部) ヨリ之ヲ配達ス該電報ニハ著信局名ヲ Lado Gondokoro ト記載シテ之ヲ二語ニ計算シ一通ニ付配達料金一圓七十二錢ヲ加課ス

○臺灣總督府告示第三百三十三號 (官報十一月二十一日)

明治四十一年十一月一日ヨリ明治三十八年四月告示第三百二十三號官廳費捌所ノ名稱、位置中臺東鹽務支館ノ次ニ「花蓮港鹽務支館」同廳蓮鄉花蓮港街」ヲ加フ

明治四十一年十一月十二日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第三百三十四號 (官報十一月二十七日)

明治四十一年十一月十七日ヨリ臺北城南街郵便受取所ヲ臺北廳大加納堡龍口街一丁目第七十三番地ニ移轉シ臺北龍口街郵便受取所ト改稱ス

明治四十一年十一月十九日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第三百三十五號 (官報十一月二十七日)

臨時臺灣糖務局ノ事務ハ明治四十一年十一月二十五日ヨリ臺灣總督府構内ニ於テ取扱ヒ同局分室ハ同日ヨリ之ヲ廢止ス

明治四十一年十一月二十日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第三百三十六號 (官報十一月二十七日)

明治四十一年十一月二十日限鳳山廳下鹽埕埔哨船頭間輕便鐵道ノ運輸營業ヲ廢止ス

明治四十一年十一月二十日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○關東都督府告示第九十六號 (官報十一月十二日)

明治四十一年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十一年十一月一日以降銀一圓ニ付金八十三錢ニ改定ス

明治四十一年十月三十一日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第九十七號 (官報十一月十二日)

關東都督府觀測所及同支所ノ名稱位置左ノ通相定ム

明治四十一年十一月一日

關東都督 子爵大島義昌

名	稱	位置	名	稱	位置
關東都督府觀測所	大連	關東都督府觀測所奉天支所	奉天		
關東都督府觀測所旅順支所	旅順	關東都督府觀測所長春支所	長春		
關東都督府觀測所營口支所	營口				

○關東都督府告示第九十八號 (官報十一月十二日)

明治四十一年十一月一日南滿洲鐵道株式會社設立瓦房店尋常小學校ヲ南滿洲鐵道株式會社設立瓦房店尋常高等小學校ニ改メ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法第一條ニ依リ指定セリ

明治四十一年十一月一日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第九十九號 (官報十一月十七日)

關東都督府海務局官吏ノ腕章左ノ通相定ム

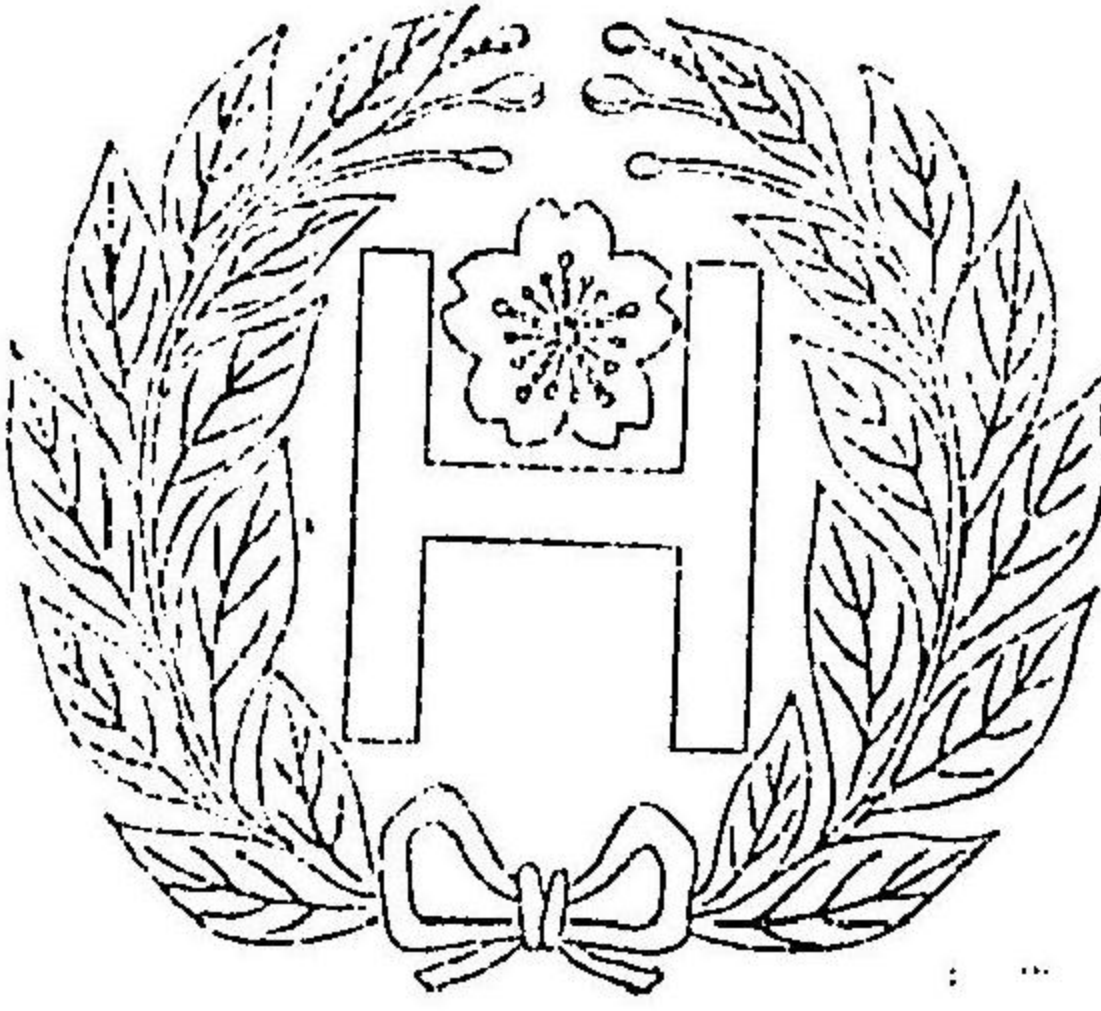
明治四十一年十一月一日

關東都督 子爵大島義昌

關東都督府海務局官吏腕章制式圖例

地質 羅紗青地
徽章 全徑一寸金モール製櫻葉十枚ニ薑三箇ヲ附シタル枝二本ヲ下部ニテ結ヒ之ヲ抱キ合セ中
央ニ海務局旗章一箇ヲ附ス但シ豎六分幅五分櫻花徑三分トス

腕章雜形



○關東都督府告示第百號(官報十一月十七日)
關東都督府海務局囑託員及雇員制服左ノ通相定ム

明治四十一年十一月一日

關東都督 子爵大島義昌

囑託員雇員制服

名稱	種別	囑託員	雇員
帽	製式	圓形ニシテ黒革製ノ前庇及幅四分ノ黒革帽ニ於テ徑四分ノ金釦各一箇ヲ以テ附ム天井吐出ハ幅一分トス如シ	同上
地質	製式	黒羅紗	同上

○關東都督府告示第百一號(官報十一月十七日)
關東都督府海務局船員制服左ノ通相定ム
明治四十一年十一月一日

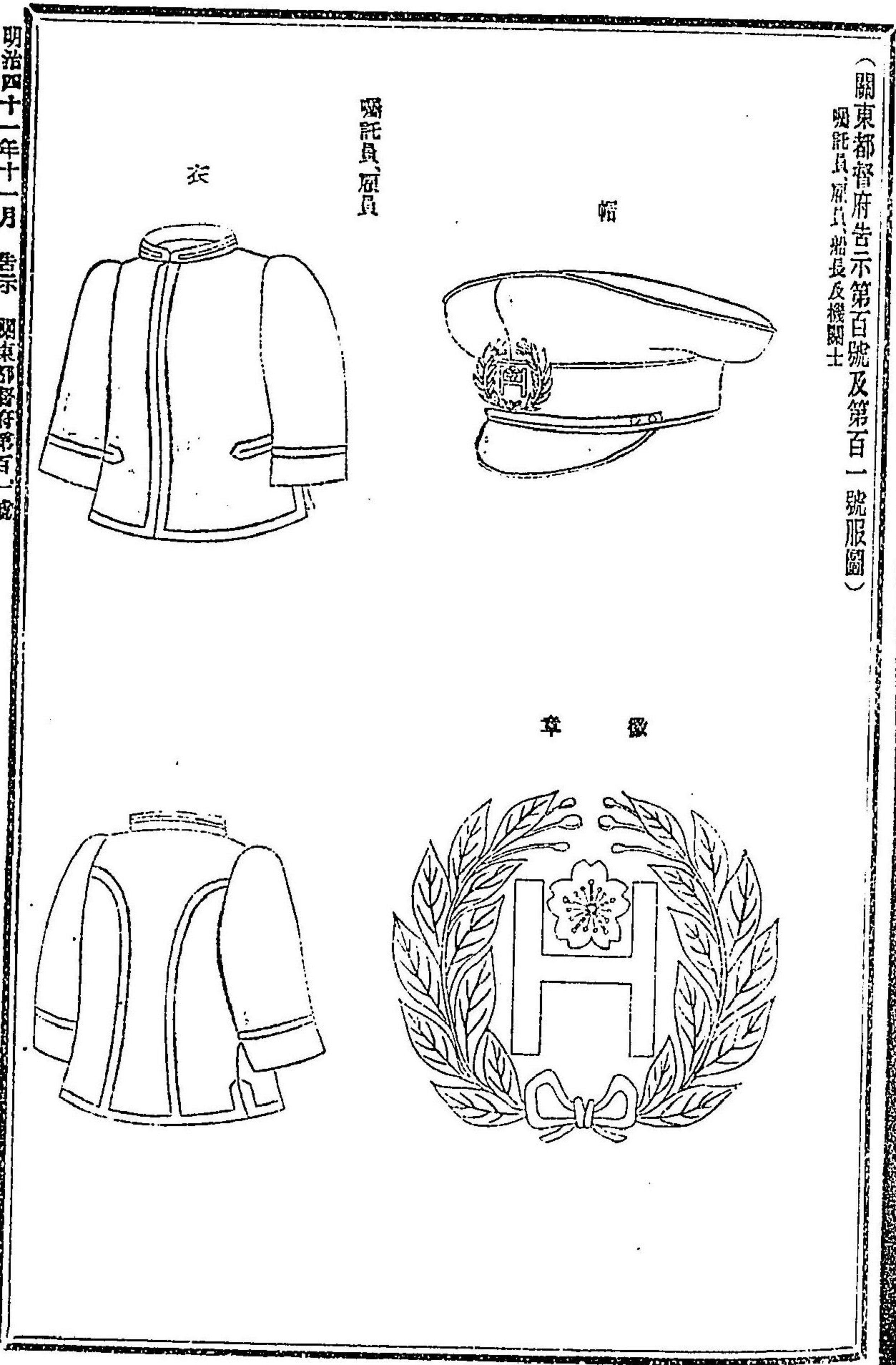
關東都督 子爵大島義昌

船員制服

名稱	種別	外		袴		衣		靴	
		製式	地質	製式	地質	製式	地質		
兩儀	紺又ハ黒羅紗	折襟胸ニ重背而ノ紐ヲ割キ背而腰セル帶緒ヲ附シ之ニ總花掌ヲ彫刻セリ金釦ニ行一箇ヲ附シ同ノ右ノ釦ヲ前ニ各一箇ヲ附シ前左ノ釦ヲ腰部ニ各一箇ヲ附ス如シ	同上	普通	紺又ハ黒羅紗但シ夏ハ白又ハ紺色布	袖口ヨリ三寸五分ノ前半身ニ幅五分ノ黒毛織線一條ヲ附ス如シ	立襟ホック掛長ジヤケツト幅六分ノ黒毛織線ヲ附ス物入ハ二箇又ハ三箇トス如シ	同上	同上
地質	紺又ハ黒羅紗	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	

套		外		袴		衣				帽	
鈕	袖	製	地	製	地	鈕	袖	製	地	徽	製
釦	章	式	質	式	質	釦	章	式	質	章	式
背面腰部左右各三箇中央一箇ヲ附ス	金色櫻花ノ鈕釦ヲ二行ニ一箇ヲ附ス	折襟胸二重圓ノ如シ	紺又ハ黒羅紗	普通	紺又ハ黒羅紗但シ夏ハ白又ハ紺色	銀色圓形五分五厘一行五箇圓ノ如シ	士ノ職務ヲ取扱フモノハ紫絨ヲ附ス 長ノ職務ヲ取扱フモノハ白絨機織ノ如シ 士ノ職務ヲ取扱フモノハ紫絨ヲ附ス	二分ノ間隙ヲ置キ前半身ニ幅四分ノ黒毛織線二條ヲ附シ其ノ間ニ船ノ職務ヲ取扱フモノハ白絨機織ノ如シ	立襟一行鈕釦長シヤケット圓ノ如シ	紺又ハ黒羅紗但シ夏ハ白又ハ紺色	圓形ニシテ黒色ノ前底及支革ヲ附シ支革ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ各一箇ノ鈕釦ヲ以テ止ム圓ノ如シ
前面一行六箇背面腰部二一箇ヲ附ス		立襟	同上	同上	同上			水兵服ニ倣フ	同上	圓形水兵帽形ニシテ頸紐ヲ附シ前底ヲ附セス	帽ノ周圍ヲ總フ黒布ノ前半周ニ關東都督府海務局ノ八字及其ノ先端ニ海務局ノ旗章ヲ金色ニテ現ハス

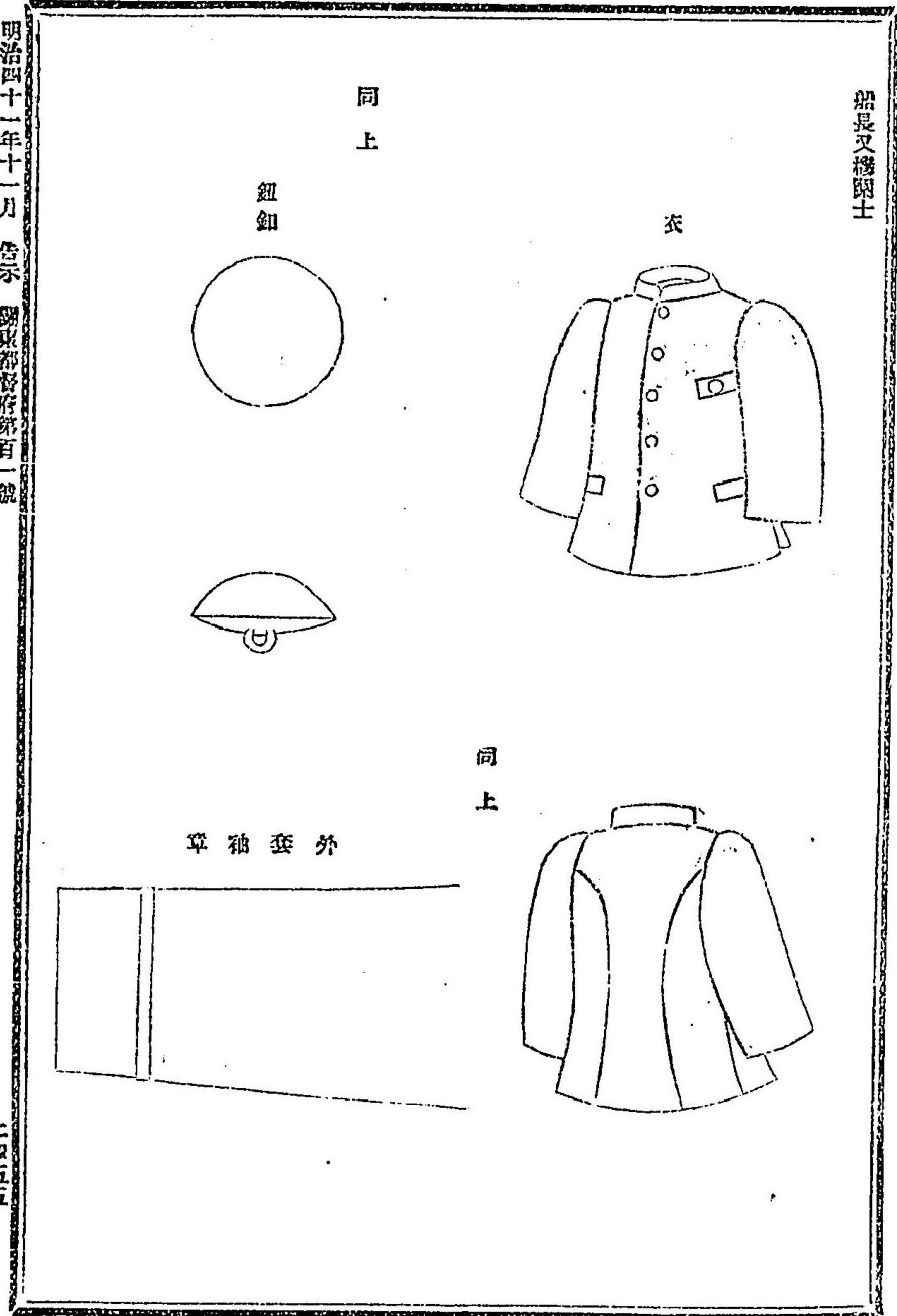
(關東都督府告示第百號及第百一號服圖)
囑託員 原員 船長及機關士



明治四十一年十一月 告示 關東都督府第百一號
 噸託員、雇員、船長及機關士



二四五四

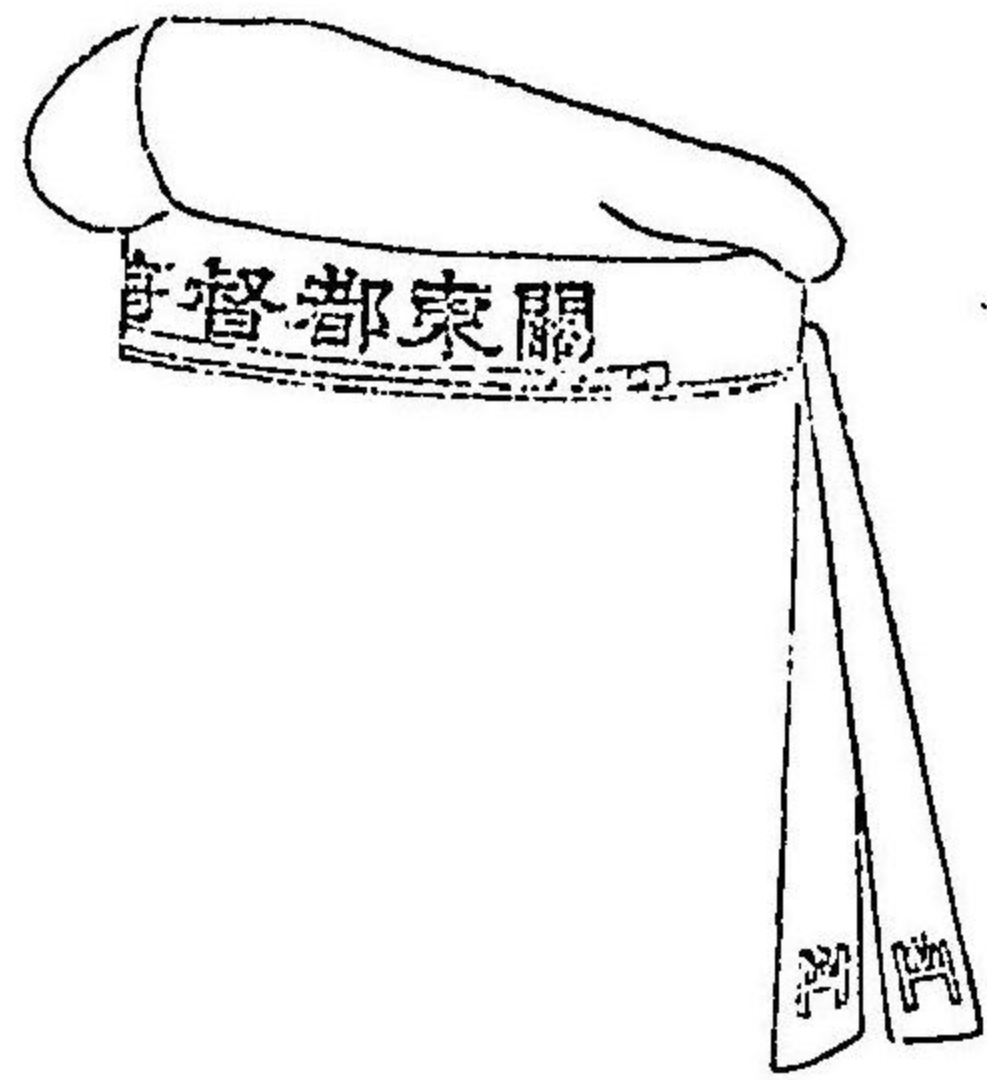


明治四十一年十一月 告示 關東都督府第百一號

二四五五

舵取、油差、水夫、火夫

帽



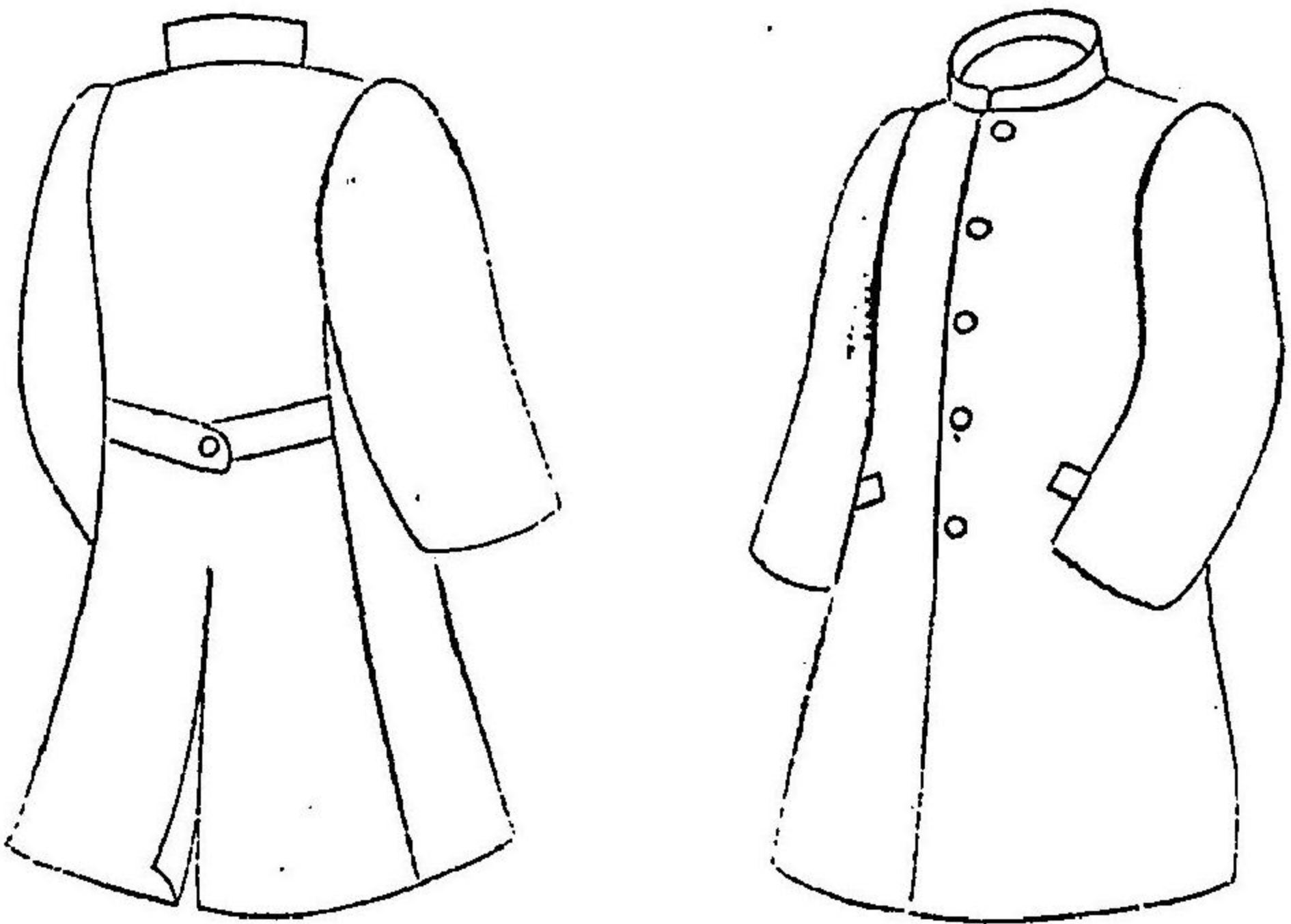
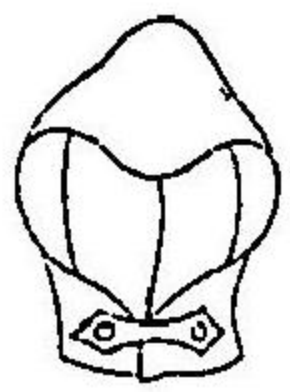
面半前帽

關東都督府海務局

同上

外
雨覆

套



○關東都督府告示第百二號(官報十一月二十五日)
關東都督府醫院ヲ旅順ニ置ク

明治四十一年十一月一日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第百三號(官報十一月二十五日)
關東都督府海務局ヲ大連ニ置ク

明治四十一年十一月一日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第百四號(官報十一月二十五日)
大連民政署金州支署出張所ノ名稱位置管轄區域左ノ通相定ム

明治四十一年十一月一日

關東都督 子爵大島義昌

名 稱
金州支署警備店出張所
金州支署鏡子嶺出張所

位 置
警備店街
鏡子嶺街

管 轄 區 域
元普開店支署管轄區域内一圓
元鏡子嶺支署管轄區域内一圓

附 則

本令ハ明治四十一年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○關東都督府告示第百五號(官報十一月二十五日)
明治四十一年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十一年十一月八日以降銀一圓ニ付金八十二錢ニ改定ス

明治四十一年十一月七日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第百六號(官報十一月二十五日)
明治四十一年十二月一日ヨリ金州郵便局ニ於テ電話交換業務ヲ開始ス

明治四十一年十一月十六日

關東都督 子爵大島義昌

○内閣告示第五號

鐵道院官制第六條ニ依ル鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域左ノ通定ム
但各管理局所管區域分界線ハ鐵道院總裁之ヲ定ム

明治四十一年十二月五日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

名 稱	位 置	管 理 區 域
東部鐵道管理局	上 野	上野青森間及支線 日暮里岩沼間及支線 福島青森間及支線 大宮輕井澤間 上野秋葉原間 田端隅田川北千住間 小山高崎間 小山友部間 宇都宮日光間 郡山喜多方間 兩國橋籠子間及支線 千葉大原間及支線 青森函館間航路
中部鐵道管理局	新 橋	新橋米原間及支線 大府武豐間 大船橋須賀間 昌平橋篠井間及支線 輕井澤新潟間 品川赤羽間 大井大崎間 神奈川橫濱間 橫濱程ヶ谷間

九州鐵道管理局	門司	米原下關間及支線 京都府部間 神戶新舞鶴間及支線 姫路八鹿間 海田市鼻間 厚狹大崎間 名古屋湊町間 龜山山田間 柘植草津間 水津櫻ノ宮間及支線 玉寺和歌山市間及支線 京都木津間 天王寺大阪間 高松琴平間 德島津門間 舞鶴宮津間 舞鶴小樽間 宮津小樽間 京橋高松間 宮島嚴島間
北海道鐵道管理局	札幌	油袋函館間 米原魚津間及支線 津幡矢田新間 名古屋坂下間
九州全線(鹿兒島吉松間ヲ除ク)	北海	九州全線(鹿兒島吉松間ヲ除ク)

○鐵道院告示第一號

鐵道院出張所名稱位置及所管區域左ノ通定

明治四十一年十二月五日

鹿兒島出張所 鹿兒島 鹿兒島八吉間

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二號

鐵道院建設事務所名稱位置及所管區域左ノ通定

明治四十一年十二月五日

北海道建設事務所 旭川 旭川新路間、旭川稚內間、池田網走間及留萌深川間

鐵道院總裁 男爵後藤新平

北海建設事務所 松本 旭川新路間、旭川稚內間、池田網走間及留萌深川間

名古屋建設事務所 名古屋 名古屋越前

福知山建設事務所 福知山 新舞鶴福知山間、綾部園部間及福知山香住間

富山建設事務所 富山 富山直江津間

岡山建設事務所 岡山 岡山宇野間

若松建設事務所 若松 喜多方新津間

中津建設事務所 中津 宇佐大分間

○鐵道院告示第三號

西部鐵道管理局出張所名稱位置及所管區域左ノ通定

明治四十一年十二月五日

釜山出張所 釜山 高松琴平間

多度津出張所 多度津 高松琴平間

德島出張所 德島 德島津門間

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第四號
鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域左ノ通定ム
但各事務所所管區域分界線ハ鐵道管理局長之ヲ定ム

明治四十一年十二月五日

鐵道院總裁 男 齋後藤新平

東部鐵道管理局

名	稱	一	位	置	一	所	管	區	域
上野	運輸事務所	上野	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮	輕井澤	上野
兩	國	運輸事務所	兩	國	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮
仙臺	運輸事務所	仙臺	盛岡	青森	秋田	大館	青森	函館	青森
青森	運輸事務所	青森	盛岡	青森	秋田	大館	青森	函館	青森
秋田	運輸事務所	秋田	盛岡	青森	秋田	大館	青森	函館	青森
上野	保線事務所	上野	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮	輕井澤	上野
水戸	保線事務所	水戸	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮	輕井澤	上野
福島	保線事務所	福島	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮	輕井澤	上野
仙臺	保線事務所	仙臺	盛岡	青森	秋田	大館	青森	函館	青森
青森	保線事務所	青森	盛岡	青森	秋田	大館	青森	函館	青森
秋田	保線事務所	秋田	盛岡	青森	秋田	大館	青森	函館	青森
兩	國	出納事務所	兩	國	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮
青森	出納事務所	青森	盛岡	青森	秋田	大館	青森	函館	青森
福島	出納事務所	福島	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮	輕井澤	上野
兩	國	出納事務所	兩	國	宇都宮	日光	小山	高崎	大宮

中部鐵道管理局

新橋	運輸事務所	新橋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
名古屋	運輸事務所	名古屋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
新橋	保線事務所	新橋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
名古屋	保線事務所	名古屋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
新橋	出納事務所	新橋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
名古屋	出納事務所	名古屋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口

西部鐵道管理局

甲府	運輸事務所	甲府	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
長野	運輸事務所	長野	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
新橋	保線事務所	新橋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
名古屋	保線事務所	名古屋	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
甲府	保線事務所	甲府	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
長野	保線事務所	長野	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
長野	保線事務所	長野	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
金澤	保線事務所	金澤	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
大阪	運輸事務所	大阪	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
神戶	運輸事務所	神戶	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
下關	運輸事務所	下關	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
大阪	保線事務所	大阪	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
兵庫	保線事務所	兵庫	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
廣島	保線事務所	廣島	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
岡山	保線事務所	岡山	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
下關	保線事務所	下關	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口
下關	出納事務所	下關	東京	大塚	池袋	有馬	大宮	浦和	川口

九州鐵道管理局

門司運輸事務所 門司 門司二日間、吉塚篠葉間、小倉月畑黑崎間、小倉宇佐間、行橋添田間及支線、遠賀川室木間
 若松運輸事務所 若松 若松上山田間、飯塚長尾間、直方伊田間、小竹幸袋間及支線、中間香月間
 熊本運輸事務所 熊本 二日市水渡間、早岐佐世保間、有田伊万里間、久保田西唐津間及支線、島嶼長崎間
 門司保線事務所 門司 水乘人吉間、宇土三角間
 若松保線事務所 若松 門司二日間、吉塚篠葉間、小倉月畑黑崎間、小倉宇佐間、行橋添田間及支線、遠賀川室木間
 鳥栖保線事務所 鳥栖 若松上山田間、飯塚長尾間、直方伊田間、小竹幸袋間及支線、中間香月間
 熊本保線事務所 熊本 香月市木葉間、早岐佐世保間、有田伊万里間、久保田西唐津間及支線、島嶼長崎間
 八代線門司起點一〇六哩二〇鎖ヨリ入吉間、宇土三角間

北海道鐵道管理局

函館運輸事務所 函館 函館小樽間
 岩見澤運輸事務所 岩見澤 手宮岩見澤間、室蘭岩見澤間、追分夕張間、岩見澤幾春別間、幌內太嶮內間、岩見澤砂川間、砂
 旭川運輸事務所 旭川 旭川砂川間、旭川新得間、旭川名寄間
 釧路運輸事務所 釧路 釧路新得間
 函館保線事務所 函館 函館小樽間
 岩見澤保線事務所 岩見澤 手宮岩見澤間、室蘭岩見澤間、追分夕張間、岩見澤幾春別間、幌內太嶮內間、岩見澤砂川間、砂
 旭川保線事務所 旭川 旭川砂川間、旭川新得間、旭川名寄間
 釧路保線事務所 釧路 釧路新得間
 函館出納事務所 函館 函館小樽間
 岩見澤出納事務所 岩見澤 手宮岩見澤間、室蘭岩見澤間、追分夕張間、岩見澤幾春別間、幌內太嶮內間、岩見澤砂川間、砂
 旭川出納事務所 旭川 旭川砂川間、旭川新得間、旭川名寄間
 釧路出納事務所 釧路 釧路新得間

附則

新橋營業事務所、上野營業事務所及神戶營業事務所ハ之ヲ廢止ス
 東部鐵道管理局內上野各事務所中央鐵道管理局內新橋各事務所西部鐵道管理局內神戶各事務所及

九州鐵道管理局並北海道鐵道管理局內各事務所ヲ除キ他ノ各事務所ハ當該營業事務所廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○鐵道院告示第五號

鐵道管理局所屬工場名稱及位置左ノ通定ス

明治四十一年十二月五日

名稱	位置	鐵道院總裁	九州鐵道管理局
大宮工場	大宮	應取工場	小倉工場
土崎工場	土崎	神戶工場	行橋工場
盛岡工場	盛岡	兵庫工場	若松工場
本所工場	本所	下關工場	北海鐵道管理局
新橋工場	新橋	廣島工場	旭川工場
沼津工場	沼津	池田工場	手宮工場
長野工場	長野	淡路工場	岩見澤工場
長岡工場	長岡	四日市工場	
		多度津工場	

○鐵道院告示第六號

九州鐵道管理局建築事務所ハ之ヲ廢止ス

明治四十一年十二月五日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第七號

鐵道院市街線建築事務所ノ所管區域及位置左ノ通定ス

明治四十一年十二月七日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第八號

十二月二十五日ヨリ日本線鹿島臺、小牛田兩驛間ニ松山町停車場及小牛田瀨峯兩驛間ニ田尻停車場ヲ設置シ旅客及附隨小荷物ノ取扱ヲ開始ス哩程左ノ通り

明治四十一年十二月十六日

哩程

鐵道院總裁 男爵後藤新平

鹿島臺	松山町間	三・〇	小牛田	田尻間	三・二
松山町	小牛田間	二・七	田尻	瀨峯間	四・三

○鐵道院告示第九號

鐵道院告示第四號鐵道管理局管内各事務所ノ名稱位置及所管區域ノ內保線事務所ノ位置及所管區域中左ノ通り改正ス

明治四十一年十二月十七日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

名	稱一位	區一	所	管	區	域
東部鐵道管理局	上野保線事務所	上野	上野宇都宮間、大宮高崎間、小山高崎間、高崎輕井澤間、上野秋葉原間、日暮里三河島間、田端	上野	上野	上野
水戸保線事務所	水戸	水戸	水戸北千住間、小山友部間、水戸那珂川間	水戸	水戸	水戸
仙臺保線事務所	仙臺	仙臺	宇都宮岩沼間、那珂山喜多方間、福島米澤間	仙臺	仙臺	仙臺
青森保線事務所	青森	青森	盛岡青森間、尻内湊間、大館青森間	青森	青森	青森
秋田保線事務所	秋田	秋田	米澤大館間	秋田	秋田	秋田
兩國保線事務所	兩國	兩國	兩國橋新生間、千葉大原間、大網東金間	兩國	兩國	兩國
中部鐵道管理局	新橋保線事務所	新橋	新橋靜岡間、神奈川橫濱間、程ヶ谷橫濱間、大船橋須賀間、大井大崎間、品川赤羽間、池袋田端	新橋	新橋	新橋
名古屋保線事務所	名古屋	名古屋	靜岡米原間、大府武豐間、名古屋阪下間	名古屋	名古屋	名古屋

金澤保線事務所 金澤 米原魚津間、敦賀金ヶ崎間、津幡矢田新間
 甲府保線事務所 甲府 八王寺篠ノ井間
 長野保線事務所 長野 輕井澤新瀉間

西部鐵道管理局
 大阪保線事務所 大阪 米原神戶間、榎植草津間、馬場大津間、京都園部間、大阪天保山間、瀨小野湊間、神崎新舞鶴間、塚口尼ヶ崎間、舞鶴海岸間
 兵庫保線事務所 兵庫 神戶桑崎間、神戶和田岬間、姫路飾磨間、姫路八鹿間
 廣島保線事務所 廣島 糸崎下關間、海田市吳間、廣島宇品間、厚狹大嶺間
 龜山保線事務所 龜山 名古屋加茂間、龜山山田間
 湊町保線事務所 湊町 加茂湊町間、天王寺大坂間、放出片町間、木津櫻宮間、王寺和歌山市間、二見川端間、京都木津

九州鐵道管理局
 熊本保線事務所 熊本 本一木葉人吉間、宇土三角間
 北海道鐵道管理局
 旭川保線事務所 旭川 砂川新得間、旭川名寄間

○鐵道院告示第十號

鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十一年十二月十八日
 東部鐵道管理局中部鐵道管理局所管分界線
 信越線 高崎起點二十七哩十五鎖 品川赤羽間 品川起點十二哩三十六鎖 池袋田端間 池袋起點二哩五十七鎖五十節
 中部鐵道管理局西部鐵道管理局所管分界線
 東海道線 新橋起點二百八十四哩 名古屋湊町間 名古屋起點零哩十四鎖

○鐵道院告示第十一號
 明治四十年十月遞信省告示第六百四十號帝國鐵道廳所管線中左記ノ通り追加改正シ明治四十二年一月一日ヨリ實施ス

明治四十一年十二月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

大辻、新入第四、新入第三、總田炭坑、忠隈、堀川、方城、豆田、庄司、高雄、枝國
以上一般貸切扱及一車積貨物

○鐵道院告示第十三號

東部鐵道管理局管内水戸營業事務所ハ本月二十二日限り之ヲ廢止ス

明治四十一年十二月二十三日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第十四號

鐵道院告示第四號鐵道管理局内各事務所ノ名稱位置及所管區域中左ノ通改正ス

明治四十一年十二月二十四日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

中部鐵道管理局

名 稱 一 位 置 一 所 管 區 域
長野出納事務所 長野 野 御代田新湯間、龍王篠、井間

○鐵道院告示第十五號

明治四十一年十月十日遞信省告示第九百五十七號中「市内出札所」ヲ「市内營業所」ニ一般鐵道旅行ヲ「一般旅客貨物」ニ改メ明治四十一年一月一日ヨリ施行ス

明治四十一年十二月二十六日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

〔參照〕

遞信省告示第九百五十七號(明治四十一年十月十六日)

大阪市東區本町二丁目三十七番地(難波橋筋)ニ市内出札所ヲ設置シ本月二十一日ヨリ乘車券類ノ發賣、手小荷物ノ受託及鐵道ノ連絡、船車ノ接續其他一般鐵道旅行ニ關スル各種案内等ノ事務ヲ取扱ハシム

○鐵道院告示第十六號

明治四十一年一月一日ヨリ 中部鐵道管理局内名古屋、金澤及長野ノ各營業事務所ヲ廢止ス

明治四十一年十二月二十六日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第十七號

橫濱市境町二丁目四十番地貨物案内所ニ於テ明治四十一年一月一日ヨリ小荷物ノ受託ニ關スル事務ヲ取扱ハシム其取扱時間左ノ如シ

午前八時ヨリ午後六時迄

明治四十一年十二月二十八日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○宮内省告示第十七號

明二日埃地利洪牙利國皇帝陛下即位六十年祝典舉行ニ付當日除喪仰出サル

明治四十一年十二月一日

宮内大臣 伯爵田中光顯

○宮内省告示第十八號

本月六日 後桃園院天皇御劍祭ニ付當日除喪仰出サル

明治四十一年十二月五日

宮内大臣 伯爵田中光顯

○宮内省告示第十九號

來明治四十二年新年式左ノ通定メラル
拜賀ノ向ハ時刻三十分前參内スヘシ
不參ノ向ハ其旨本月三十日マテニ式部職へ届出ツヘシ

明治四十一年十二月二十二日

宮内大臣 伯爵田中光顯

明治四十二年

新年式

一日

午前五時三十分 四方拜

同 七時三十分 晴御膳

同 十時

親王同妃王同妃宮内官(親任官同待遇公爵從一位勳一等等官侯爵正二位二等官勳任待遇同夫人並奏任官奏任待遇)拜賀
大勳位親任官同待遇公爵從一位勳一等等官侯爵正二位同夫人拜賀
二等官驛香問祇候錦鷄問祇候勳任待遇同夫人拜賀
准勳任雇外國人勳三等以上外國人同夫人拜賀
神佛各宗派管長拜賀
各國大使公使同館員並夫人拜賀

午後二時

時刻各處ニ於テ定ム

二日

午前七時三十分

晴御膳

同 十時

伯爵從二位勳二等子爵正從三位勳三等男爵正從四位同夫人拜賀
三等官四等官五等官拜賀
准奏任雇外國人並勳四等以下勳六等以上外國人拜賀

同 十一時三十分

貴族院衆議院正副議長議員拜賀
六等官以下九等官以上拜賀

同 十一時四十分

奏任待遇ノ神職拜賀
正五位以下從六位以上勳四等以下勳六等以上拜賀

門跡寺院住職拜賀
奏任待遇並正七位以下勳七等以下參賀

午後零時三十分ヨリ

同 二時

東宮御所

一日二日ノ内午前九時ヨリ午後二時マテニ左ノ諸員參賀

大勳位親任官同待遇公爵從一位勳一等等官侯爵正二位二等官驛香問祇候錦鷄問祇候勳任待遇伯爵從二位勳二等子爵正從三位勳三等男爵正從四位同夫人
神佛各宗派管長

一日二日ノ内午後二時ヨリ同四時マテニ參賀
三等官以下九等官以上奏任待遇正五位以下勳四等以下門跡寺院住職
貴族院衆議院正副議長議員

三日

午前七時三十分

晴御膳

同 十時

元始祭

賢所 皇靈殿 神殿 御親祭

四日

午前十時

政始

先奏 神宮ノ事

五日

正午十二時

新年宴會

親王王大勳位親任官同待遇公爵從一位勳一等等官侯爵正二位二等官驛香問祇候錦鷄問祇候勳任待遇

貴族院議長衆議院議長
各國大使公使
右陪宴
伯子男爵及有位華族
右宮中ニ於テ賜饌
在京奏任官
右各廳ニ於テ賜饌
貴族院衆議院副議長議員
右各議院ニ於テ賜饌

八日
午前十時
陸軍始

○宮内省告示第二十號
本月二十五日帝國議會開院式ヲ行ハセラル、旨仰出サル
明治四十一年十二月二十四日

宮内大臣 伯爵田中光顯

○内務省告示第二百二十四號
一無政府共產 一册
右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十一年十二月二日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
明治四十一年十二月三日
發行者未詳
内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第二百二十五號
樺太ノ地名ヲ左ノ通改正ス

明治四十一年十二月九日
舊地名 改正地名
ナマシ 北名好

内務大臣 法學博士男爵平田東助
舊地名 改正地名
シスカ 敷香

○内務省告示第二百二十六號
一新ばやり歌 一册
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十一年十二月八日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
明治四十一年十二月九日
發行
内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第二百二十七號
一明治四十二年九星早見 一册
一明治四十二年九星早見 一册
一明治四十二年九星早見 一册
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス
明治四十一年十二月十日
發行
内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第二百二十八號
一明治四十二年九星早見 一册
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス
明治四十一年十二月十二日
發行
内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百二十九號
一繪葉書 四種四枚

但支那人向貸問ト記載アルモノ
ほころびト記載アルモノ
温泉場ト記載アルモノ
重ねて置いて眞ニツト記載アルモノ

一枚
一枚
一枚
一枚
發行者未詳

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十一年十二月十二日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

○内務省告示第百三十號
内務大臣 法學博士男爵平田東助

一無政府主義 馬拉跌士達著 一册
清國人 張繼 發行

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十一年十二月十七日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

○内務省告示第百三十一號
内務大臣 法學博士男爵平田東助

一新世紀叢書 第一集 一册

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第二十條ニ依リ明治四十一年十二月十七日內國ニ於ケル發賣頒布禁止及印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

○内務省告示第百三十二號
内務大臣 法學博士男爵平田東助

一勞働 第一卷 千九百〇八年十一月五日米國桑港プレスノ市
エフ街九二一勞働新聞社發行
右ハ治安ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ新聞紙條例第二十一條ニ依リ本月十七日內國ニ於ケル發

賣頒布ヲ禁止シ且其ノ紙册ヲ差押フ

明治四十一年十二月十八日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百三十三號
郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中兵庫縣ノ部ニ左ノ追加シ明治四十二年一月一日ヨリ施行ス

明治四十一年十二月二十三日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

署名	管轄	區域
和田山警察署	朝來郡一圓 養父郡ノ内	大藏村 糸井村
八鹿警察署	養父郡一圓但シ大藏村糸井村ヲ除ク	

○内務省告示第百三十四號
郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中山口縣豐浦警察署及下關警察署ノ部左ノ通り改メ同縣欄内ニ船木警察署及山口警察署ヲ加ヘ明治四十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年十二月二十六日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

署名	管轄	區域
豐浦警察署	豐浦郡ノ内(生野村豐西下村豐西中村豐西上村彦島村ヲ除ク)	
下關警察署	下關市 豐浦郡ノ内 生野村 豐西下村 豐西中村 豐西上村 彦島村	
船木警察署	厚狹郡ノ内 西岐波村 東岐波村	
山口警察署	吉敷郡ノ内(西岐波村、東岐波村ヲ除ク)	

○大藏省告示第六十九號
 明治四十二年一月一日ヨリ同月三十一日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ従前ノ通

明治四十一年十二月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

外 國 貨 幣	日 本 金 貨	
	上 海 一 兩	一 圓
清 國 兩	天津一兩	一九二
	漢口一兩	一五七
墨 西 哥 弗 銀	一ドルラル	八四七
英 吉 利 弗 銀	一ドルラル	八五六
香 港 弗 銀	一ドルラル	八五六
英 領 印 度 貨	一ルーピー	六五三
暹 羅 貨	一チカル	七三〇

○大藏省告示第七十號

一大日本帝國政府五分利公債證書額面百四拾貳萬五千五百五拾圓
 但發行價格證書額面百圓ニ付金九拾圓

右鐵道國有法第十五條ニ依リ明治四十一年十一月三十日之ヲ發行セリ

明治四十一年十二月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第七十一號

明治四十一年大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十一年十二月五日ヨリ施行ス

明治四十一年十二月二日

大藏大臣 侯爵桂太郎

第三條第二號第二項ヲ左ノ如ク改ム

鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ各等鹽共前項ノ金額ヨリ金三十五錢ヲ減

第三條第二號第二項ヲ左ノ如ク改ム

鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ前項ノ金額ヨリ金四十一錢ヲ減ス

〔參照〕

大藏省告示第百號(明治四十一年六月十六日)抄録

第三條 鹽專賣法第十九條第一項第一號ニ依リ外國ニ輸出シ又ハ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽及專賣鹽特別定價

賣渡及交付金下付規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ノ賣渡價格左ノ如シ

一 鹽湖鹽 上等鹽金一圓十二錢、並等鹽金一圓五錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

二 鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ各等鹽共前項ノ金額ヨリ金二十三錢ヲ減ス

三 關東州鹽 金一圓十一錢

鹽酸、曹達、硫酸曹達、晒粉製造用ニ使用スル鹽ニ付テハ前項ノ金額ヨリ金二十九錢ヲ減ス

○大藏省告示第七十二號

明治四十一年十二月二日

大藏大臣 侯爵桂太郎

紛失ニ因リ效力ヲ失ヒタル記名國債證券ノ利札左ノ如シ

額面金	枚數	發行年	記號	番號	附屬利札	紛失届出年月日
百圓	一	明治二十八年	波	五五九六九	明治三十四年十一月	明治三十四年十二月二十六日

○大藏省告示第百七十八號
 大阪稅務監督局管内船場稅務署ヲ明治四十一年十二月十八日大阪府大阪市南區千代田十二番地十三番地へ移ス

明治四十一年十二月十四日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百七十九號
 專賣局函館收納所及專賣局函館販賣所ヲ明治四十一年十二月十九日ヨリ北海道函館區豐川町五十八番地ノ二、三へ移ス

明治四十一年十二月十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百八十號
 煙草專賣法第六條ニ依リ明治四十二年七月一日ヨリ明治四十三年六月三十日迄ノ間ニ收納スル葉煙草ノ賠償價格左表ノ通相定メ之ニ相當スル標本ハ專賣局收納所ニ設備ス
 賠償價格表ニ掲ケサル品類ノ葉煙草ヲ納付シタルトキハ本表ニ掲ケタル葉煙草ニ準シ相當賠償價格ヲ定ム

明治四十一年十二月十七日

大藏大臣 侯爵桂太郎

等級	一貫百圓賠償價格	二貫百圓賠償價格	三貫百圓賠償價格	四貫百圓賠償價格	五貫百圓賠償價格	六貫百圓賠償價格	七貫百圓賠償價格	八貫百圓賠償價格	九貫百圓賠償價格	十貫百圓賠償價格
特等	二・八〇	二・四〇	二・〇〇	一・七〇	一・四〇	一・一〇	〇・九〇	〇・七〇	〇・五〇	〇・三〇
優等	三・八〇	三・四〇	三・〇〇	二・七〇	二・四〇	二・一〇	一・九〇	一・七〇	一・五〇	一・三〇
等	四・八〇	四・四〇	四・〇〇	三・七〇	三・四〇	三・一〇	二・九〇	二・七〇	二・五〇	二・三〇
劣等	五・八〇	五・四〇	五・〇〇	四・七〇	四・四〇	四・一〇	三・九〇	三・七〇	三・五〇	三・三〇

十二等	川原葉煙草干	五等以下	宇陀葉煙草干	四等以下
十一等	東山葉煙草干	六等以下	國中葉煙草干	六等以下
十等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
九等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
八等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
七等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
六等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
五等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
四等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
三等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
二等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
一等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
優等	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
四等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
五等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
六等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
七等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
八等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
九等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
十等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
十一等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下
十二等以下	東山葉煙草干	七等以下	丸葉煙草干	四等以下

竹田縣 高等以下 宮崎縣 高等以下 指宿縣 高等以下
 高千穂縣 高等以下 國分縣 高等以下 オキナハ縣 高等以下
 喜寶局鹿兒島收納所管内産 垂水縣 高等以下 特等以下
 丸葉縣 特等以下 出水縣 特等以下 特等以下

○大藏省告示第八十一號

京都稅務監督局管内周山稅務署ヲ明治四十一年十二月二十五日京都府北桑田郡周山村大字周山字高梨子三番地ノ一、同字中山三十九番地ノ一、同字下寺田二十七番地ノ一ハ移ス

○大藏省告示第八十二號

京都稅務監督局管内宮津稅務署ヲ明治四十一年十二月二十六日京都府與謝郡宮津町大字柳繩手三百二十一番地ハ移ス

○大藏省告示第八十三號

鹽專賣法第八條ニ依リ明治四十二年中收納スル鹽ノ百斤當賠償價格左ノ通相定ム但シ鹽專賣法施行細則第十三條第二項ニ依リ收納所長ノ指定シタル者ニ引渡スヘキ鹽ニ付テハ各等級金參錢ヲ低減ス

撤鹽ノ賠償付スル鹽ニ付テハ前項ノ賠償價格ヨリ各等級金六錢ヲ低減ス
 鹽ノ品質特ニ優等ナルモノニ付テハ一等ノ賠償價格ニ一割以下ノ割増ヲ爲スコトアルヘシ
 鹽專賣法施行細則第十八條但書ヲ適用シタル鹽ニ付テハ五等ノ賠償價格以下ニ於テ相當ノ賠償價格ヲ定ム

沃度副産鹽ニ付テハ第一項ノ規定ニ拘ラス收納所長適宜其ノ賠償價格ヲ定ムルコトヲ得
 明治四十一年十二月二十六日 大藏大臣 侯爵桂太郎

縣	徵	區	城	一等	二等	三等	四等	五等
兵庫縣	岡山縣	廣島縣	山口縣	徳島縣	香川縣	愛媛縣		
高知縣	内務省	多摩郡	宿毛町	福山縣	内務省	大分縣		
大阪府	奈良縣	和歌山縣						
三重縣	愛知縣							
千葉縣	内務省	千葉縣	宮城縣	内務省	鹿嶋郡	桃生郡		
内務省	石川縣	内務省	鹿嶋郡	鳳至郡	珠洲郡			
北海道	東京府	京都府	神奈川縣	新潟縣	埼玉縣	群馬縣		
千葉縣	東葛飾郡	千葉郡	茨城縣	栃木縣	山梨縣			
滋賀縣	岐阜縣	長野縣	宮城縣	群馬縣	内務省	藤村		
福井縣	福島縣	山形縣	秋田縣	福井縣	石川縣	鹿嶋郡	鳳至郡	珠洲郡
長崎縣	高知縣	徳島縣	宿毛町	除ク	福岡縣	築上郡	除ク	
佐賀縣	熊本縣	宮崎縣	鹿兒島縣					
沖繩縣								

○大藏省告示第八十四號

製造煙草定價左ノ通相定ム
 明治四十一年十二月二十八日 大藏大臣 侯爵桂太郎

種類	製造所	名	稱	定	價
紙卷煙草	英吉利	タッダー	プレミアール、ネグサカツト、フィール	百本ニ付	二、三〇〇
同	同	同	マトルゾ、ローヴ	同	二、八〇〇
刻煙草	同	同	プレミアール、ネグサカツト、フィール	一英斤ニ付	四、〇〇〇

同
○大藏省告示第百八十五號
製造煙草定價左ノ通相定ム

明治四十一年十二月二十八日
種類 製造所 名 大藏大臣 侯爵桂太郎
紙卷煙草 マルタ、ソマビール ラキソル 定 價
同 同 ターフ、クラフ 百本ニ付 二〇〇〇
同 同 エムプレツス 同 二五〇〇
同 同 二六〇〇

○大藏省告示第百八十六號
長野稅務監督局管内上諏訪稅務署ヲ明治四十二年一月一日長野縣諏訪郡上諏訪町字片羽九千七百八番イ號地へ移ス

明治四十一年十二月二十八日
大藏大臣 侯爵桂太郎

○陸軍省告示第二十七號
明治二十四年陸軍省告示第九號附表中佐世保要塞ノ部ニ左ノ通追加ス
明治四十一年十二月十七日
陸軍大臣 子爵寺内正毅

事	項	區	城
要塞地帶法第十條乃至第十六條ニ掲クル事項ニシテ鐵業ニ關スルモノ	長崎縣北松浦郡中里村、大野村及東彼杵郡佐世村ノ各一部		

〔参照〕
明治三十四年十月十日 陸軍省告示第九號ハ各要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其區域ノ件ナリ

○陸軍省告示第二十八號
明治三十四年陸軍省告示第九號附表中舞鶴要塞ノ部ニ左ノ通追加ス
明治四十一年十二月二十六日
陸軍大臣 子爵寺内正毅

事	項	區	城
同第七條第二項中攝影、機寫、錄取	京都府與謝郡上宮津村、城東村及同郡栗田村ノ一部		

〔参照〕
明治三十四年十月十日 陸軍省告示第九號ハ各要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其區域ノ件ナリ

○陸軍省告示第二十九號
明治三十六年陸軍省告示第三號陸軍軍人軍屬鐵道乘車物品輸送手續第二條ヲ左ノ通改正ス
明治四十一年十二月二十九日
陸軍大臣 子爵寺内正毅
第二條 前條ニ依リ付與スル乘車證券ハ、將校同相當官、高等文官ニ在リテハ一等室若ハ二等室、准士官、高等官待遇者、見習士官、見習主計、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官ニ在リテハ二等室若ハ三等室、下士卒、士官候補生、主計候補生、陸軍諸生徒、依託學生、依託生徒、判任文官、高等官待遇以外ノ囑託及雇員備人ニ在リテハ三等室ヲ以テ定規トス但シ本人ノ希望ニ依リ等級ヲ繰下クルモ妨ナク各等級室ノ設ナキ列車ニ在リテハ乘車證券面ノ一等ヲ二等ニ、二等ヲ三等ニ變更スルコトヲ得

○海軍省告示第十五號
今般左記區域内ニ危險物ヲ沈置スヘキニ付右區域内ハ明治四十一年十二月十八日ヨリ明治四十二年六月十七日迄船舶ノ通航、碇泊及漁業ヲ禁止ス(海軍海圖第百六十一號參看)
明治四十一年十二月十七日
海軍大臣 男爵齋藤實

